

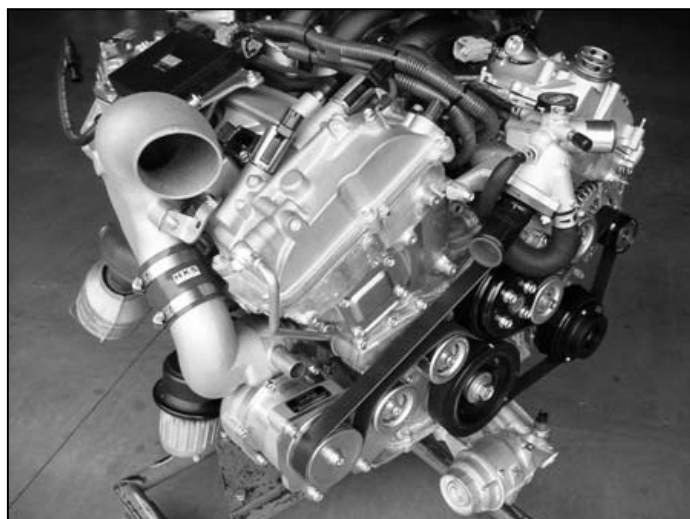


取 付 説 明 書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。
 取付けは必ず専門業者に依頼してください。
 お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
 万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	G T スーパーチャージャーシステム
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No. と 対 応 年 式	12001-AT001/AT002 2005/10~2008/02 ※後席エアコンディショナー付車両は加工取付けが必要です
取付説明書品番	E04215-T57014-00 Ver. 3-3.05
メーカ-車種	トヨタ クラウン アスリート (DBA-GRS184)
エンジン型式	2GR-FSE



キット装着図 (E/G 側)



キット装着図 (車体側)

備 考

・本製品を使用してのエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。

○本キット(12001-AT001/AT002)には、HKS GTスーパーチャージャー本体保証(以下 本体保証)が適用されます。

○本製品は専用サブコンピュータにてセッティング済みのため、下記指定部品との組合せで使用してください。

- ・指定部品以外の部品を使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。
- ・指定部品以外の部品を使用した場合にはエンジンが破損する場合があります。

コンプリートキット指 定 部 品

ECU	純正並びに純正データ
触媒付き エキゾーストマニホールド	純正
第2触媒付中間パイプ	純正
マフラー	純正またはHKSリーガマックスPremium
スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M40iL/M45iL のいずれかに必ず交換
エンジンオイル	HKS エンジンオイル シリーズ 高温粘度 40 以上

○本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。

保証対象外となる使用条件

サーキット走行などの高負荷運転
専用サブコンピュータのセッティングデータ変更
ECUデータの変更(エンジン最大回転数の引き上げ、燃料点火セッティングの変更)

改訂の記録

改訂No.	日付	記載変更内容
3-3.01	2008/07	初版
3-3.02	2008/12	P217 パーツ品番変更
3-3.03	2008/12	P201 パーツ品番変更
3-3.04	2009/07	P301・P302 パーツ品番変更
3-3.05	2009/11	パーツリスト変更

2009年11月10日発行(禁無断複写、転載)株エッチ・ケー・エス

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	2
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツの取外し・移動	7
2. インジェクタドライバの移動	10
3. GT スーパーチャージャーの取付け	15
4. サクションパイプの取付け	19
5. オイルタンク・オイルフィルタの取付け	22
6. インタークーラーの取付け	25
7. インタークーラーパイプの取付け	30
8. オイルクーラーの取付け	34
9. 圧力センサの取付けと、リリーフバルブ作動圧配管の取付け	37
10. E/G制御系部品の取付け	39
11. ノーマルパーツの取付け	47
12. トラクションオイルの注入	50
13. 取付け後の確認とトラクションオイル量の調整	51
14. 1ヶ月点検の実施	53
15. 維持・管理	54
16. 故障と判断する前に	55
17. ベルトが切れてしまった場合	55

はじめに

この度は、HKS GTスーパーチャージャーシステムをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。

取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害については当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

No. 1

連番	品番	品名	数量	備考
1	G18600-T57010-00	GT スーパーチャージャー	1	
2	G15711-K00040-00	オイルクーラーコア	1	
3	G99162-610601-0S	フィッティング	2	
4	G15300-T57010-00	オイルタンク	1	
5	G08834-K00020-00	トラクションオイル	1	
6	18005-AK023	ホースクランプφ8	4	
7	G09122-K00070-00	ホースクランプφ10	4	
8	G17714-K00030-00	ブラケット φ70 用	2	
9	G09113-K00040-15	シリコンホースφ70 L=20	2	
10	18005-AK011	ホースバンド#48	2	
11	G09110-T57010-00	ホース Assy φ10	1	
12	G09110-G15020-00	ホースφ8 L=2500	1	
13	G17621-T57011-00	SC ブラケット No.1	1	
14	G17621-T57021-00	SC ブラケット No.2	1	
15	G13561-T57010-00	プーリー	2	
16	G13564-T57010-00	プーリーカバー	2	
17	G90311-062101-0E	スペーサー (D14 × d6 × t2)	1	
18	G90311-082101-0E	スペーサー (D20 × d8 × t3.5)	2	
19	G09971-T57010-00	スペーサー (D20 × d8 × t33.5)	1	
20	G94551-102101-DA	T-ナット	2	
21	G09971-T57020-00	スペーサー (D20 × d10 × t10.5)	1	
22	G09971-T57030-00	スペーサー (D20 × d10 × d12)	1	
23	G09961-K00040-00	ベルト	1	
24	G17810-T57011-00	パイプNo.1	1	
25	G17811-T57032-00	パイプNo.2	1	
26	G17619-N53010-00	ガasket	1	
27	G17660-N53034-00	リリーフバルブ	1	
28	1803-SA038	シリコンホース φ80 L=70	1	
29	90400-116100	シリコンホース φ65 L=55	1	
30	18005-AK011	ホースバンド#48	2	
31	18005-AK009	ホースバンド#40	2	
32	18005-AK005	ホースバンド#16	2	
33	G17683-T57010-00	ホースφ22 L=60	1	
34	G17814-T57010-00	ホースφ16 L=65	1	
35	G09122-K00040-00	ホースクランプφ16	2	
36	18006-AK015	ジョイントパイプφ16	1	
37	15719-037100	スポンジシート 50 × 50 × 3	1	
38	G84773-T41011-00	ブラケット No.1	1	

パーツリスト

No. 2

連番	品番	品名	数量	備考
39	G84773-T41021-00	ブラケット No.2	1	
40	G99551-013002-00	コルゲートチューブ φ13 L=1000	1	
41	G09371-K00020-00	コルゲートチューブ φ10 L=250	1	
42	G99551-005002-00	コルゲートチューブ φ5 L=1000	1	
43	G09919-K00010-18	タイラップ(大)	10	
44	90131-007100	タイラップ(中)	10	
45	90131-006100	タイラップ(小)	10	
46	91111-06300400	六角ボルト M6 L=30	2	
47	91111-08200425	六角ボルト M8 L=20	1	
48	G90121-061501-BA	キャップボルト M6 L=15	6	
49	G90121-062001-BA	キャップボルト M6 L=20	2	
50	G90121-082001-CB	キャップボルト M8 L=20	2	
51	G90121-082501-CB	キャップボルト M8 L=25	1	
52	G90121-083501-CB	キャップボルト M8 L=35	3	
53	G90121-084001-CB	キャップボルト M8 L=40	1	
54	G90121-086501-CB	キャップボルト M8 L=65	1	
55	G90121-104001-DB	キャップボルト M10 L=40	2	
56	G90126-063001-BB	皿ボルト M6 L=30	1	
57	G90126-086501-CB	皿ボルト M8 L=65	2	
58	G90311-062103-0A	ワッシャ M6 用	10	
59	94611-061310	ワッシャ M6 用 t=1.0	2	
60	94611-061816	ワッシャ M6 用 大径	2	
61	G90311-082101-0A	ワッシャ M8 用	10	
62	G90311-102102-0A	ワッシャ M10 用	2	
63	G90221-062101-BA	フランジ付ナット M6	3	
64	G17910-T57010-00	インタークーラー	1	
101	G17921-T57011-00	ブラケット No.3	1	
102	G17921-T57021-00	ブラケット No.4	1	
103	G17921-T57031-00	ブラケット No.5	1	
104	G15721-T57011-00	ブラケット No.6	1	
105	G15721-T57021-00	ブラケット No.7	1	
106	G99551-015002-00	コルゲートチューブ φ15 L=1000	1	
107	G15341-T57011-00	ブラケット No.8	1	
108	G15614-T57011-00	ブラケット No.9	1	
109	G17951-T57011-00	パイプ No.3	1	
110	G17951-T57021-00	パイプ No.4	1	
111	G17951-T57031-00	パイプ No.5	1	

パーツリスト

No. 3

連番	品番	品名	数量	備考
112	G17971-T57011-00	パイプ No.6	1	
113	G17971-T57021-00	パイプ No.7	1	
114	G17971-T57031-00	パイプ No.8	1	
115	G17961-T57011-00	ブラケット No.10	1	
116	G17981-T57011-00	ブラケット No.11	1	
117	G17981-T57021-00	ブラケット No.12	1	
118	G17714-K00020-00	ブラケット φ60 用	2	
119	G17714-K00070-00	ブラケット φ50 用	2	
120	G17821-T57010-00	ブラケット No.13	1	
121	G09115-K00010-00	シリコンホース φ80-φ60	1	
122	1803-SA042	シリコンホース φ60 L=70	1	
123	G09113-K00100-15	シリコンホース φ60 L=20	2	
124	1803-SA044	シリコンホース φ60-φ50	3	
125	1803-SA007	シリコンホース φ50 L=70	2	
126	90400-086100	シリコンホース φ50 L=55	1	
127	G09113-K00090-15	シリコンホース φ50 L=20	3	
128	18005-AK011	ホースバンド#48	1	
129	18005-AK008	ホースバンド#36	9	
130	18005-AK006	ホースバンド#28	11	
131	15719-037100	スポンジシート 50×50×3	3	
132	G88441-T41011-00	ブラケット No.14	1	
133	G82715-T41011-00	ブラケット No.15	1	
134	94501-157100	スペーサー (D20×d10×t5)	1	
135	G99551-007002-00	コルゲートチューブ φ7 L=250	1	
136	G09919-K00010-18	タイラップ(大)	10	
137	90131-007100	タイラップ(中)	40	
138	90131-006100	タイラップ(小)	40	
139	G90121-061201-BA	キャップボルト M6 L=12	3	
140	G90121-061501-BA	キャップボルト M6 L=15	20	
141	G90121-062001-BA	キャップボルト M6 L=20	1	
142	G90121-081501-CB	キャップボルト M8 L=15	6	
143	G90121-082001-CB	キャップボルト M8 L=20	1	
144	G90311-062103-0A	ワッシャ M6 用	25	
145	94611-061816	ワッシャ M6 用 大径	1	
146	G90311-082101-0A	ワッシャ M8 用	10	
147	G90221-062101-BA	フランジ付ナット M6	15	
148	G90221-082101-CB	フランジ付ナット M8	6	

パーツリスト

No. 4

連番	品番	品名	数量	備考
201	G05111-T41012-00	専用 F-CON iS+OSCセット	1	
		専用 F-CON iS	1	
		OSC	1	
		OSC ハーネス	1	
		F-CON iS 通信ケーブル	1	
202	4299-RA008	圧力センサー	1	
203	G82271-T34020-00	F-CON +VAC ハーネス	1	
204	G89620-K00080-00	INJ アダプタ 2GR	1	
205	G89750-T41030-00	VAC T-606	1	12001-AT001 のみ
206	G89473-T41011-00	ブラケット No.16	1	
207	G90121-061501-BA	キャップボルト M6 L=15	3	
208	G90311-062103-0A	ワッシャ M6 用	3	
209	G90221-062101-BA	フランジ付ナット M6	2	
210	1801-SA012	ホースφ4 L=2000	1	
211	1801-SA016	ホースφ6 L=500	1	
212	18006-AK002	スリーウェイ φ6-φ4-φ6	1	
213	18006-AK017	ジョイントパイプφ8-φ6	1	
214	18005-AK022	ホースクランプφ6	4	
215	18005-AK001	ホースバンド#4	2	
216	4599-RA016	エアフィルタφ6	1	
217	G89921-K00020-00	GCC コネクタ	1	
218	G82232-K00050-00	GCC 端子	10	
301	E04215-T57014-00	取付説明書	1	
302	E04215-T57022-00	取扱説明書	1	
303	E04215-N53140-00	取扱説明書	1	

※パーツリスト内の部品の中には、補修パーツとして設定してある部品もありますので、別途ご購入の際は、受注センターにお問い合わせください。

受注センター

TEL : 0544-29-1234

FAX : 0544-29-1151

1. ノーマルパーツ取外し・移動

パーツリスト			
※右表の No. は 3~6 ページのパーツリストの連番に対応します。	No.	品名	数量
	P43	タイラップ(大)	(2)
	P44	タイラップ(中)	(1)

整備要領書に従って作業を行なう。

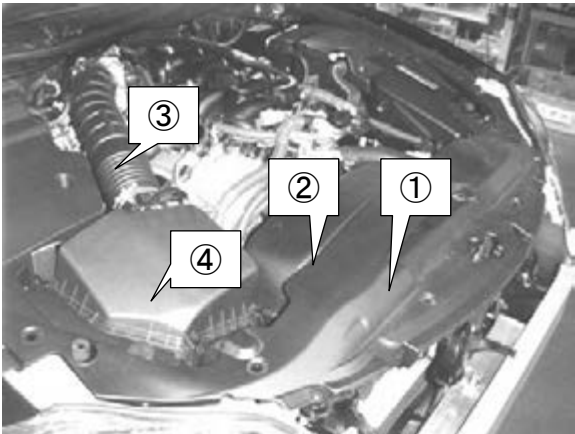
- (1) バッテリーのマイナス端子接続を取外す。
- (2) エンジンアンダカバーを取外す。
- (3) フロントバンパーを取外す。
- (4) フロントバンパ エネルギーアブソーバーを取外す。
- (5) 外気温センサのカプラを取外し、フロントバンパリーンホースメントを取外す。

- (6) 運転席側ラジエータ グリル サイドエアガイドを取外す。

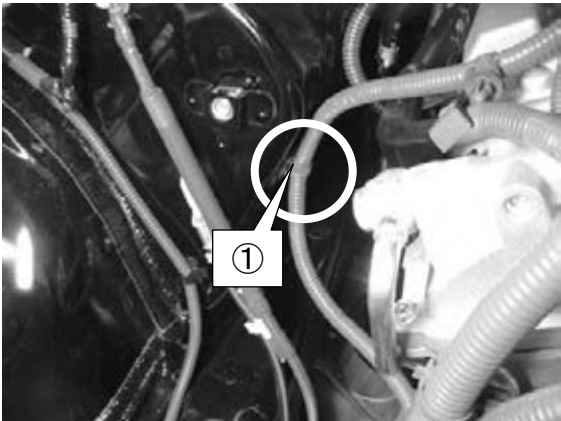


- (7) 運転席側ブレーキエアガイドを取外す。

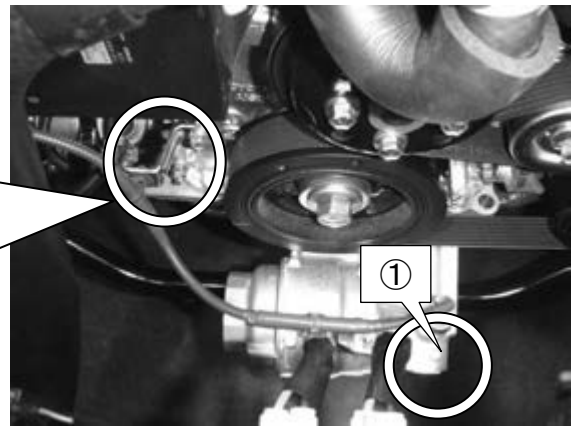
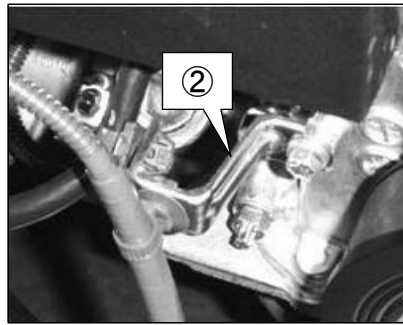
- (8) エンジンカバーを取外す。
- (9) ①のクールエアインテークダクトシール、②のエアダクト、③のエアホース、④のエアクリーナを取外す。



- (10) ①のエアフロセンサーのハーネスを車体から切り離す。



(11) ①の油圧センサーのカプラと②のハーネスブラケットを取外す。

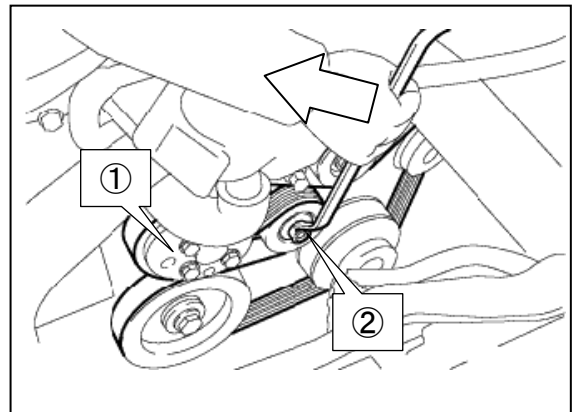


(12) ファン&オルタネータ V ベルトを張ったまま、①のウォーターポンププリーのボルト4本を緩める。

(13) テンショナーのプリーセットボルトに工具を掛け、②のテンショナーを左に回転させて張力を緩める。

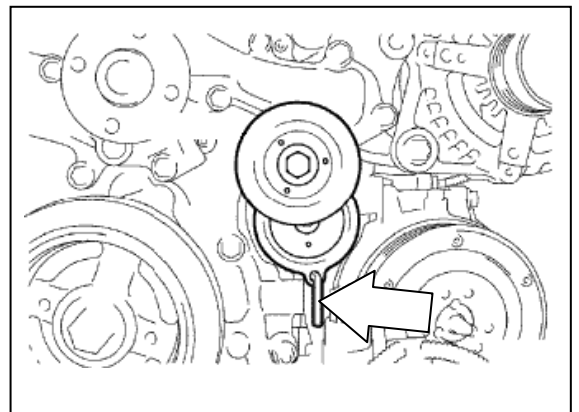
アドバイス

- ・車両下方より作業を行うと、テンショナーが破損する恐れがある。
- ・プリーセットボルトは左ネジを使用しているため、右回転させるとプリーセットボルトが緩む。



(14) 5mm の六角レンチを使用し、図のようにテンショナを固定させてベルトを取外す。

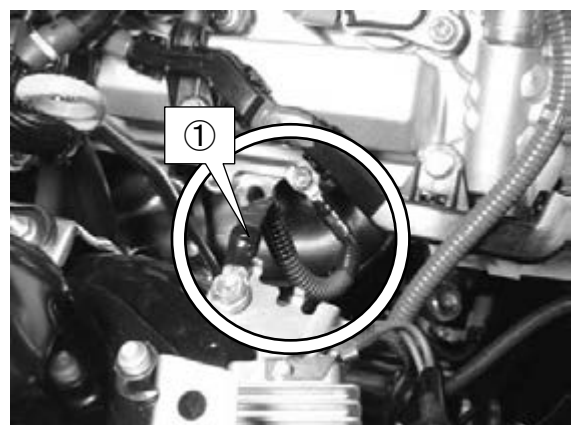
(15) ウォーターポンププリーを取外す。



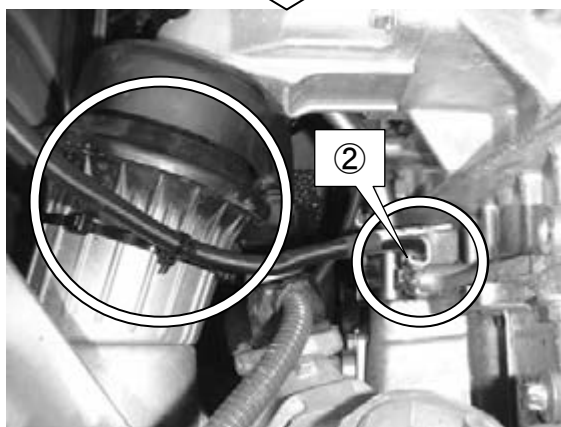
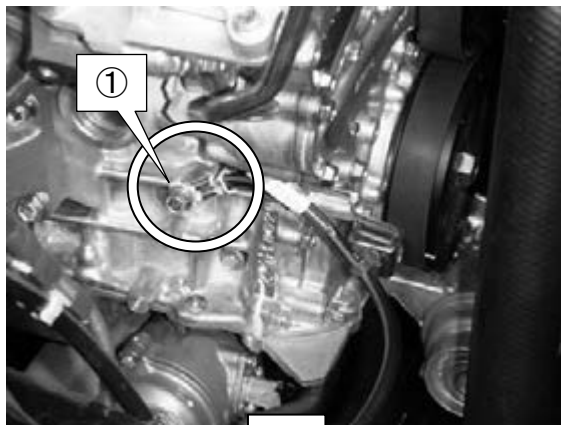
(16) ①のアースを取外す。

アドバイス

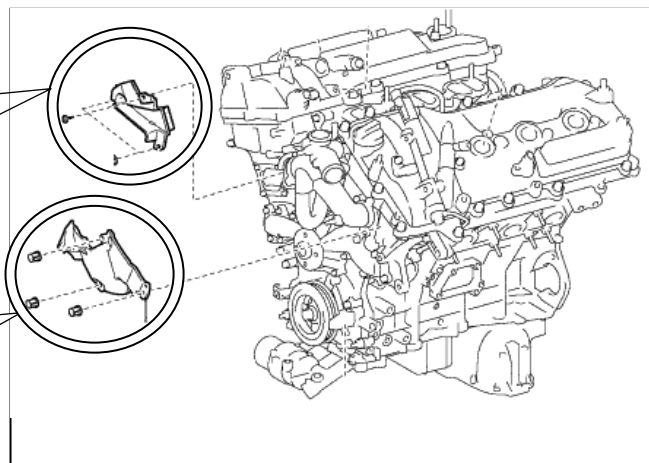
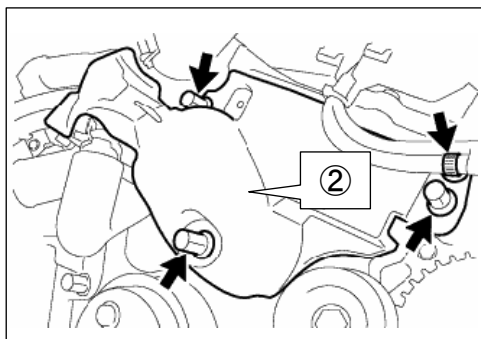
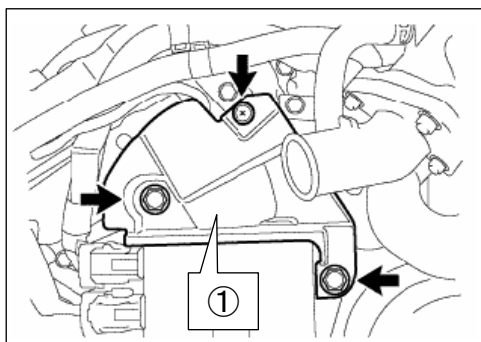
- ・サクシオンパイプ取付時、再使用する。



(17) ①のアース取付位置を②の位置に変更し、ケーブル部をE/Gマウントにタイラップで固定する。



(18) E/G 前面①のエンジンカバーNo. 1、②のエンジンカバーNo. 2 を取外す。

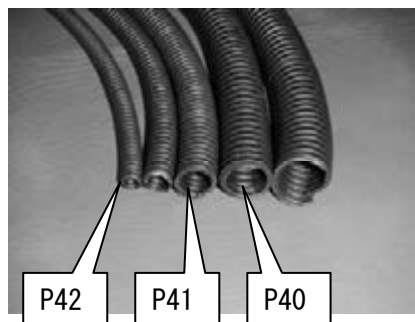
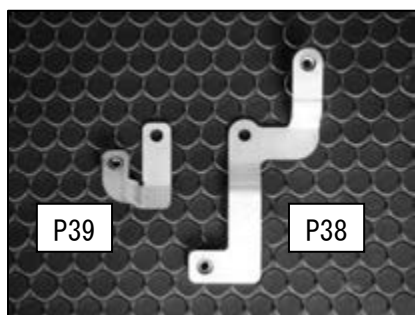


2. インジェクタドライバの移動



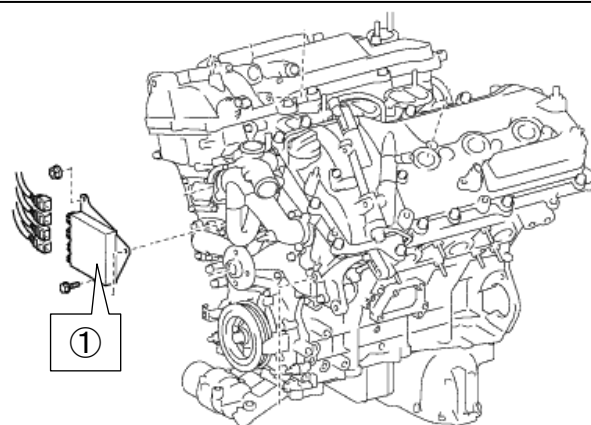
部品装着イメージ

パーツリスト

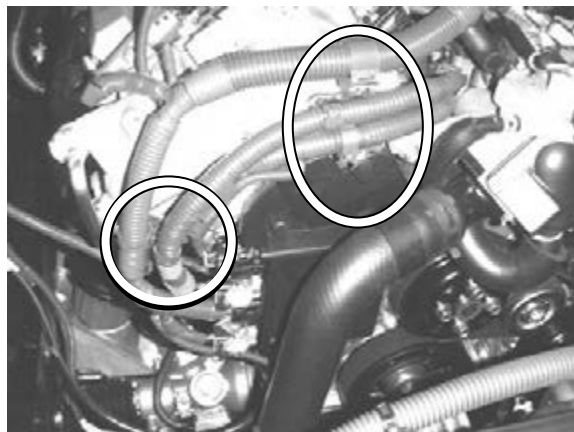


No.	品名	数量
P38	ブラケットNo.1	1
P39	ブラケットNo.2	1
P40	コルゲートチューブφ13 L=1000	1
P41	コルゲートチューブφ10 L=250	1
P42	コルゲートチューブφ5 L=1000	1
P48	キャップボルト M6 L=15	3
P58	ワッシャ M6 用	3
P59	ワッシャ M6 用 t=1.0	2
P60	ワッシャ M6 用大径	2
P63	フランジ付ナット M6	1
P43	タイラップ(大)	(3)
P44	タイラップ(中)	(3)
P45	タイラップ(小)	(3)
P46	六角ボルト M6 L=30	2

(1)①のインジェクタドライバ及び、それが固定してある
スタットボルトを取外す。

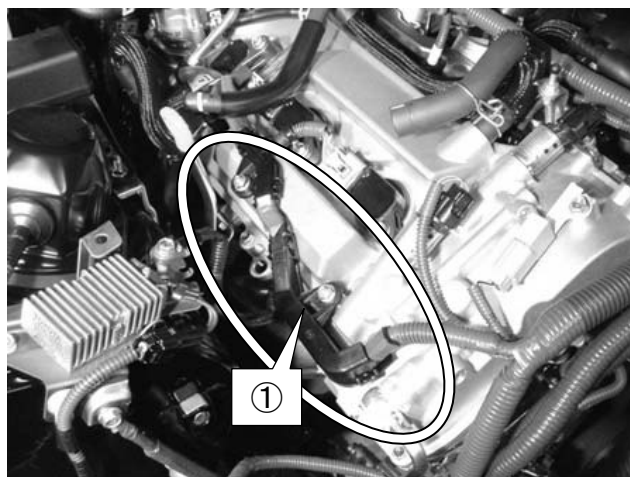


(2)ハーネス 3 本が固定してあるステー (2 個) を取外す。

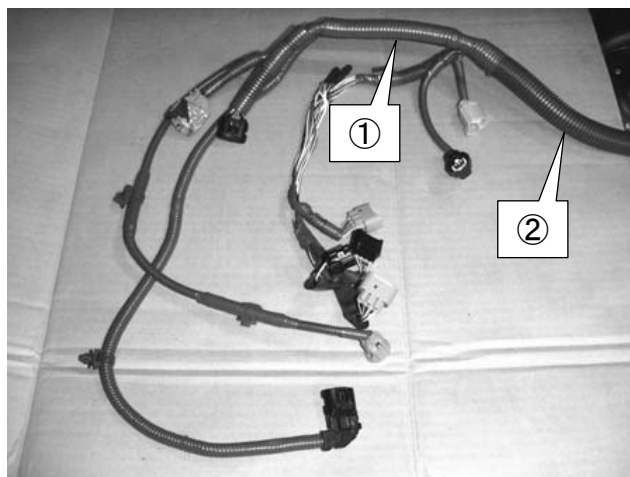


(3) イグニッションコイル及びクランクポジションセンサのカプラを取外す。

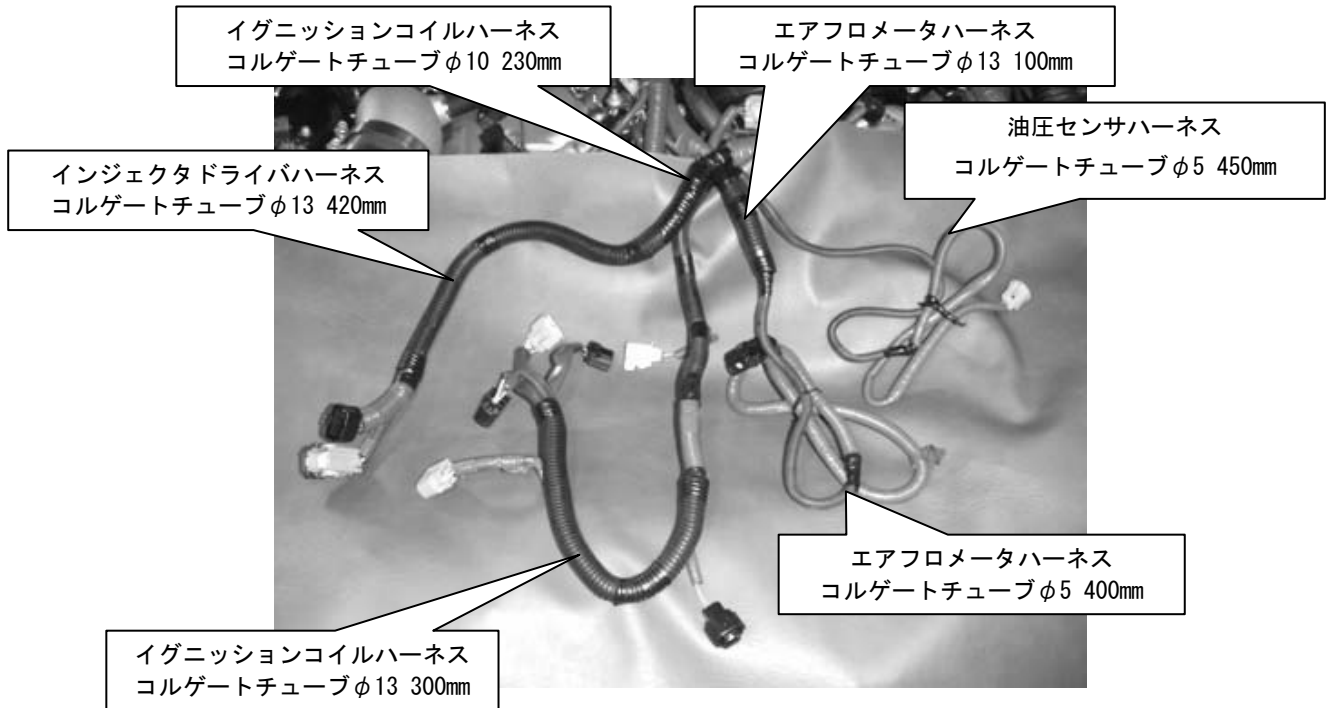
(4) イグニッションコイル+クランクポジションセンサのハーネスから①の樹脂カバーを取外す。



(5) ①、②の 2 箇所、コルゲートチューブを取外す。



(6) 図のようにハーネスをまとめ直し、コルゲートチューブで保護する。

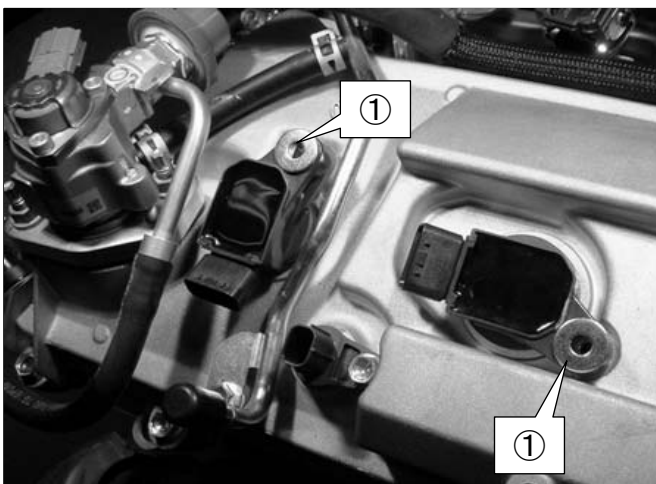


(7) スパークプラグを HKS M40iL (コード No. 50003-M40iL) または、M45iL (コード No. 50003-M45iL) に交換する。この際、3 番、5 番のイグニッションコイルは、スパークプラグに取付けた後、ボルトでの固定をしない状態にしておく。

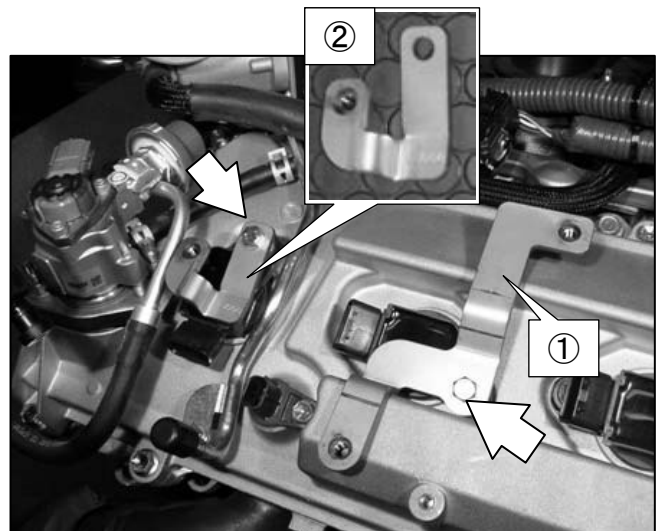
(8) イグニッションコイル及びクランクポジションセンサのカプラを接続する。

(9) インジェクタドライバ移動のため、①のブラケット No. 1、②のブラケット No. 2 を 3 番、5 番のイグニッションコイル上に取付ける。

(イグニッションコイル+クランクポジションセンサのハーネスは写真に写っていない。)



3 番、5 番のイグニッションコイルのボルト座面に①のワッシャ M6 大径を乗せておく
 ・ワッシャ M6 大径 ×2



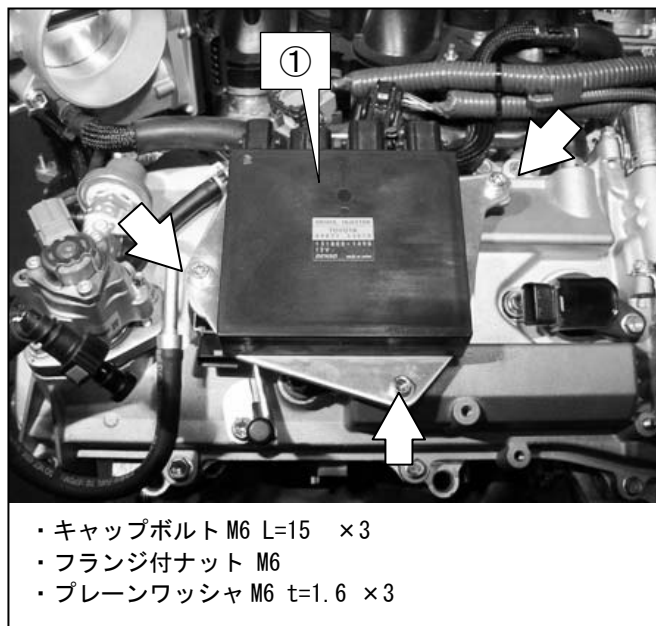
①のブラケット No. 1、②のブラケット No. 2 を取付ける。

- ・六角ボルト M6 L=30 ×2
- ・ワッシャ M6 t=1.0 ×2

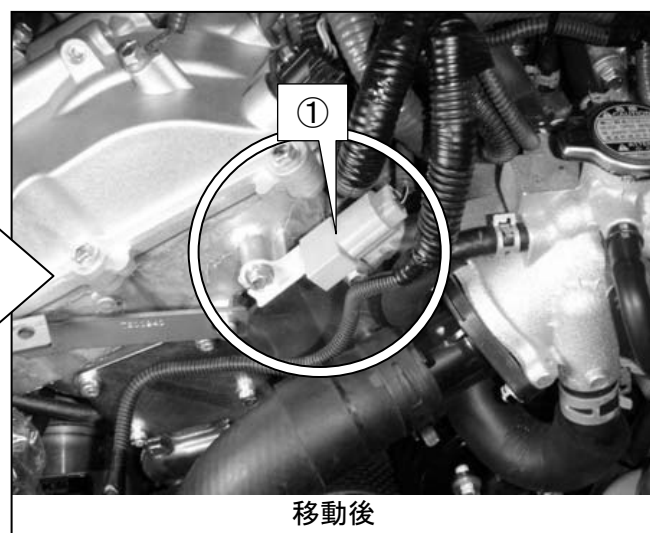
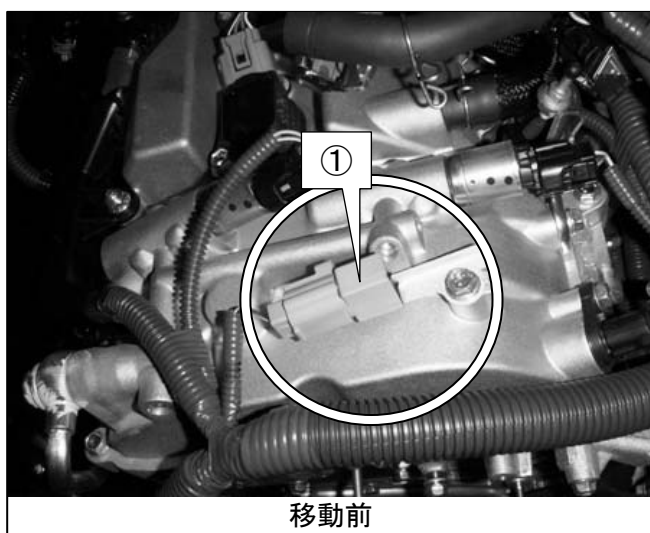
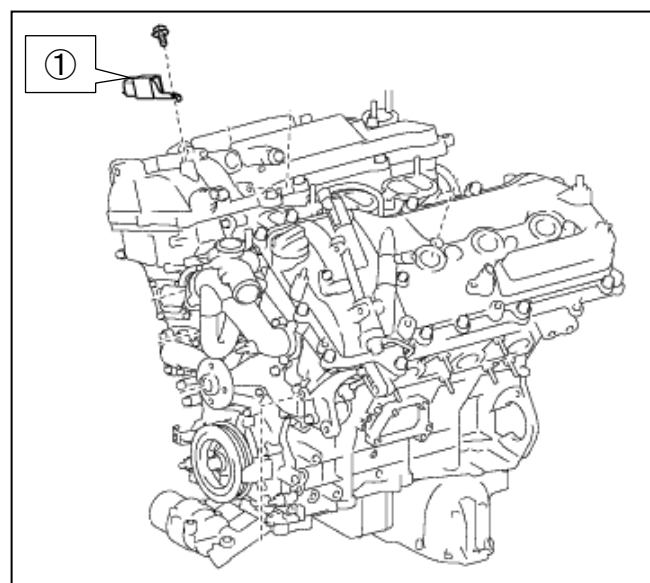
アドバイス

- ・ワッシャ M6 は必ず t=1.0 を使用する。
 t=1.6 を使用するとボルトがインジェクタドライバと干渉する場合があります。

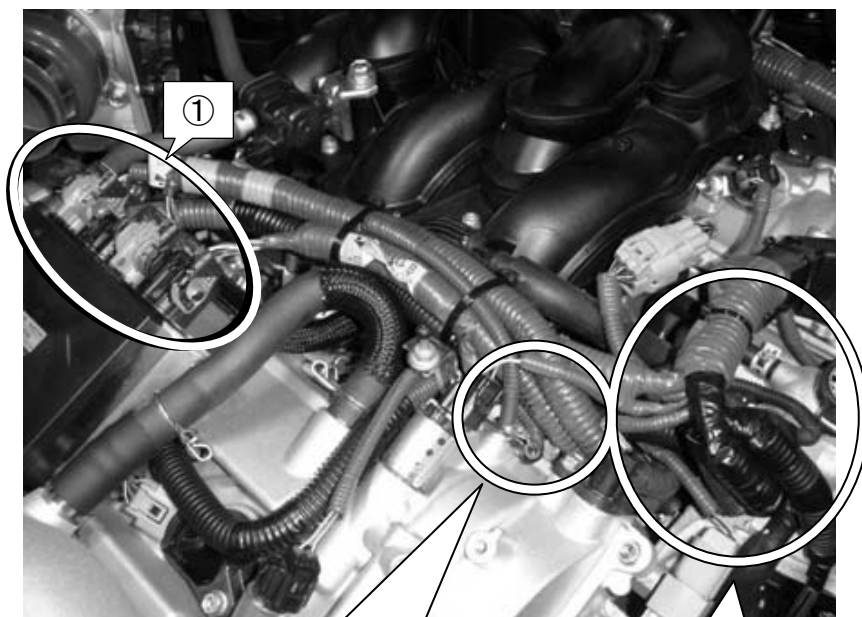
(10) (9)で取付けたブラケット No. 1、No. 2に①のインジェクタドライバを取付ける。



(11) ①のラジオセッティングコンデンサを移動する。



(12)①のインジェクタドライバのカプラを接続し、タイラップで束ねる。



アースの固定



集合部拡大

3. GT スーパーチャージャーの取付け

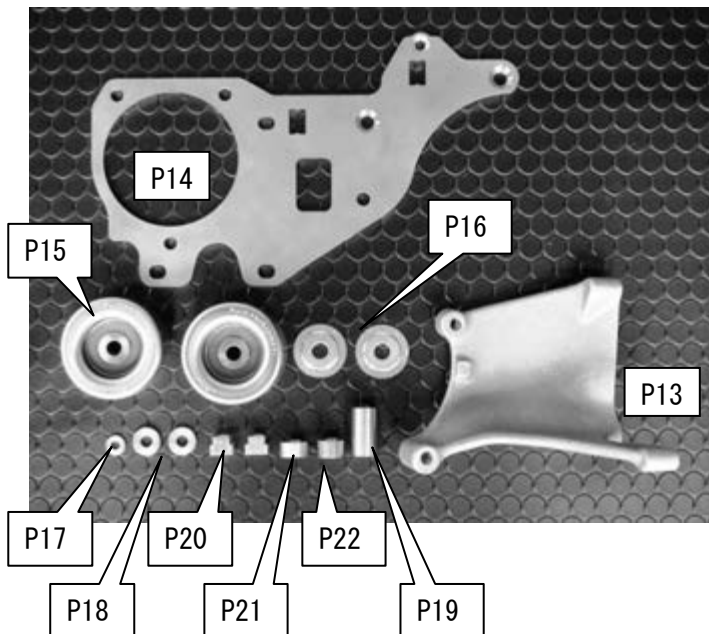


部品装着イメージ

パーツリスト



P1



P15

P20

P22

P18

P21

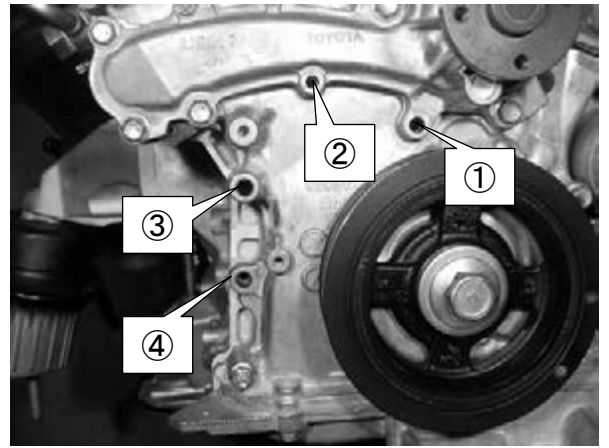
P19



P23

No.	品名	数量
P1	GT スーパーチャージャー	1
P13	SC ブラケット No. 1	1
P14	SC ブラケット No. 2	1
P15	プーリー	2
P16	プーリーカバー	2
P17	スペーサー (D14×d6×t2)	1
P18	スペーサー (D20×d8×t3.5)	2
P19	スペーサー (D20×d8×t33.5)	1
P20	T-ナット	2
P21	スペーサー (D20×d10×t10.5)	1
P22	スペーサー (D20×d10×t12)	1
P23	ベルト	1
P47	六角ボルト M8 L=20	1
P50	キャップボルト M8 L=20	2
P51	キャップボルト M8 L=25	1
P52	キャップボルト M8 L=35	3
P53	キャップボルト M8 L=40	1
P54	キャップボルト M8 L=65	1
P55	キャップボルト M10 L=40	2
P56	皿ボルト M6 L=30	1
P57	皿ボルト M8 L=65	2
P61	ワッシャ M8 用	9
P62	ワッシャ M10 用	2

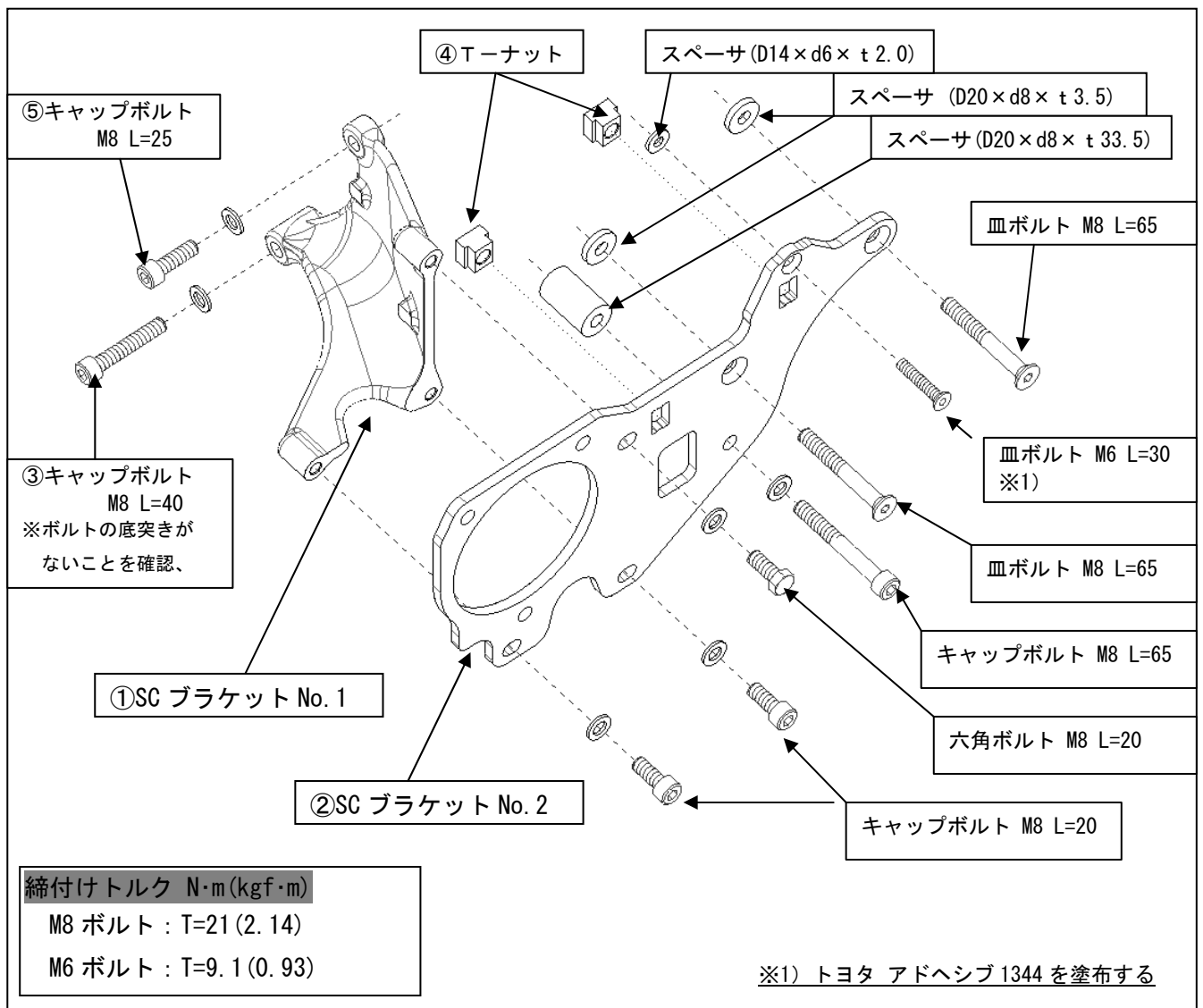
(1) ①～④のボルト 4本を取外す。

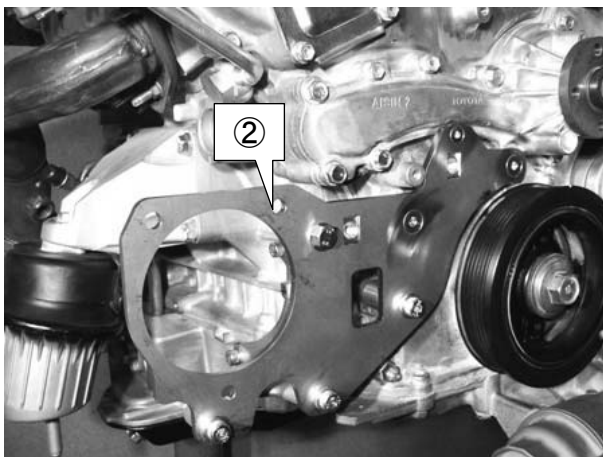
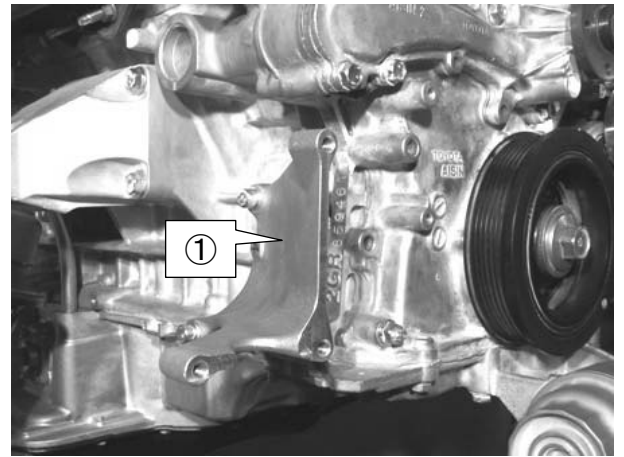
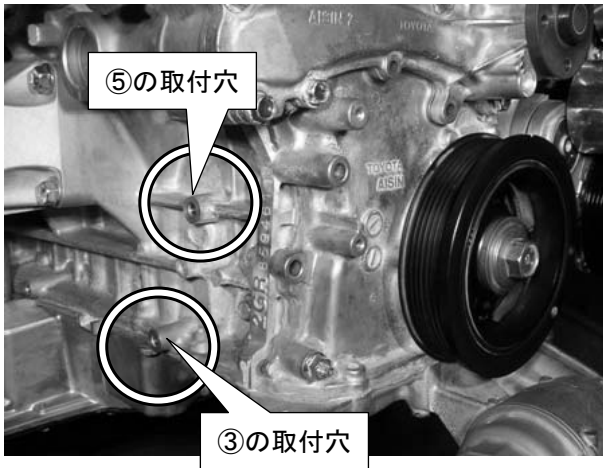


(2) ①の SC ブラケット No. 1、②の SC ブラケット No. 2 を E/G に仮付けする。

- ・この時、③のキャップボルト M8 L=40 のボルトが底突きしていないか確認する。底突きしている場合は、ボルトの先端を加工、または、ワッシャを 1 枚追加し、底突きしないようにする。
- ・仮付け時は T-ナット 不要。
- ・②の SC ブラケット No. 2 を取付後、G T スーパーチャージャーの取付けはできない。

(3) 各ボルトが無理なく締付けできることを確認し、SC ブラケット No. 1 のみ本締めする。





(4) ②の SC ブラケット No. 2 を取外す。

(5) テープや瞬間接着剤等を使用して、②の SC ブラケット No. 1 に④の T-ナットを仮付けする。

(6) 車体が傷つかないように、GT スーパーチャージャーをウエス等で包み、GT スーパーチャージャーを①の SC ブラケット No. 1 の上に乗せる。

(7) ②の SC ブラケット No. 2 に GT スーパーチャージャーを仮付けする。

(8) ②の SC ブラケット No. 2 を本付けする。

(9) GT スーパーチャージャーを②SC ブラケット No. 2 に本付けする。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=29 (3.0)

(10) プーリー①、②を SC ブラケット No. 2 に取付ける。

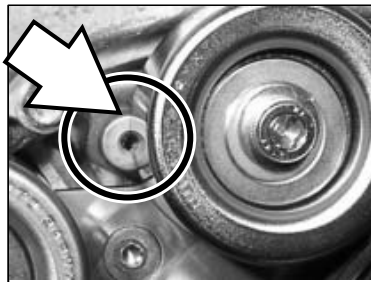
アドバイス

・ プーリー①と②はスペーサーの厚さが異なっているため、間違えないようにする。

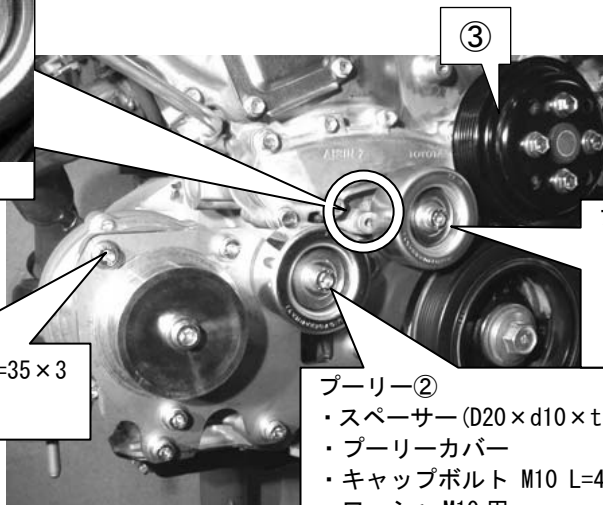
締付けトルク N・m(kgf・m)

T=43 (4.38)

(11) プーリー①が E/G のボスと干渉が無いこと確認する。干渉する場合は、ボスを 2mm 程度削り、干渉しないようにする。



干渉ないことを確認



- ・キャップボルト M8 L=35×3
- ・ワッシャ M8 用×3

- プーリー②
- ・スペーサー (D20×d10×t10.5)
 - ・プーリーカバー
 - ・キャップボルト M10 L=40
 - ・ワッシャ M10 用

- プーリー①
- ・スペーサー (D20×d10× t 12)
 - ・プーリーカバー
 - ・キャップボルト M10 L=40
 - ・ワッシャ M10 用

(12) ③のウォータポンププーリーを取付ける。(SST 品番 : 09960-10010 (09962-01000, 09963-00700))

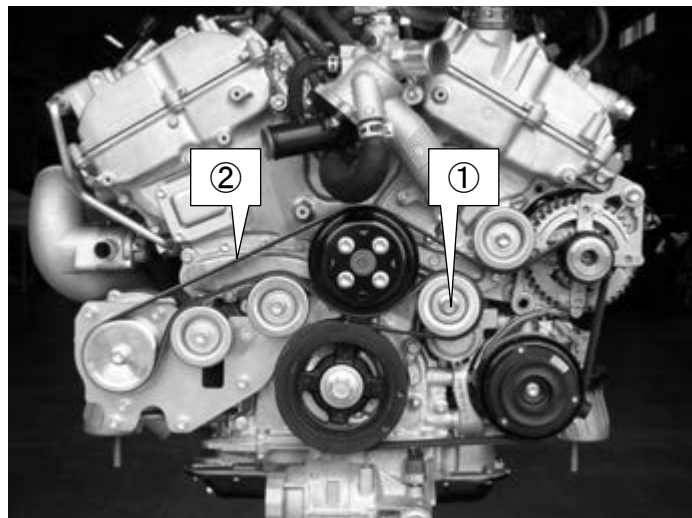
締付けトルク N・m(kgf・m)


T=21 (2.14)

(13) ①のテンショナーの張力を緩めながら②のベルトを取付ける。

アドバイス

- ・5mmの六角レンチをはずし忘れないこと。



 注意

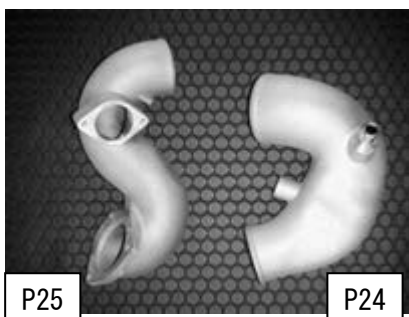
- ・ベルトがプーリーの溝にしっかり合っていることを確認してください。溝にしっかりとあてない場合、ベルトが傷つき、破損する恐れがあります。
- ・オイル、冷却水等が付着しないように取扱ってください。

4. サクションパイプの取付け



部品装着イメージ

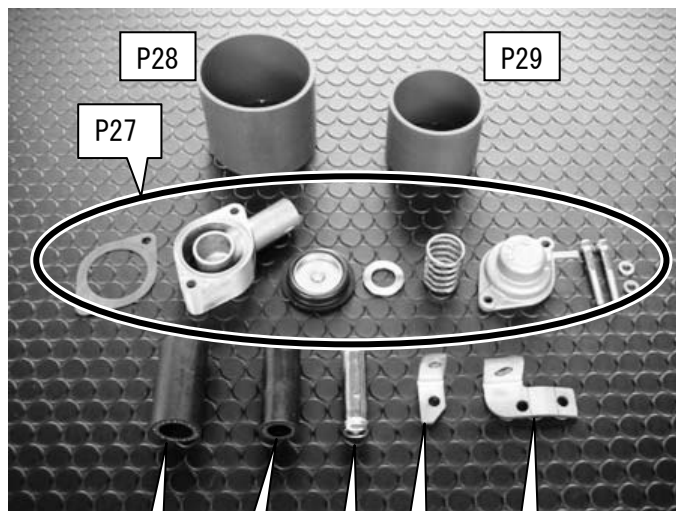
パーツリスト



P25

P24

P26



P33

P34

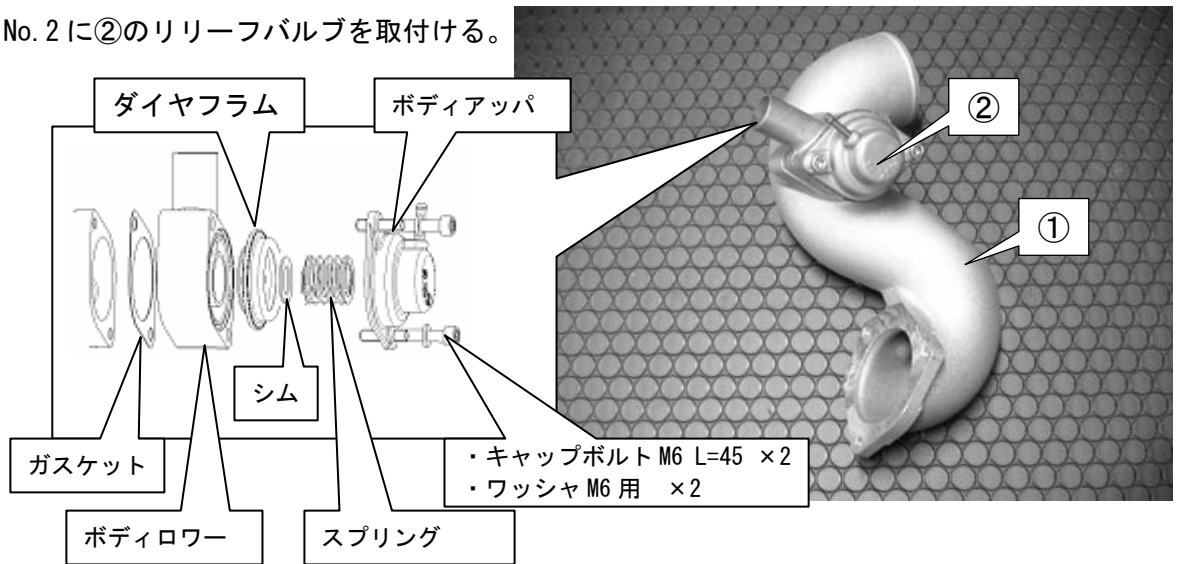
P36

P133

P120

No.	品名	数量
P24	パイプNo.1	1
P25	パイプNo.2	1
P26	ガスケット	3
P27	リリーフバルブ	1
P28	シリコンホース φ80 L=70	1
P29	シリコンホース φ65 L=55	1
P30	ホースバンド#48	2
P31	ホースバンド#40	2
P32	ホースバンド#16	1
P33	ホースφ22 L=60	1
P34	ホースφ16 L=65	1
P35	ホースクランプφ16	2
P36	ジョイントパイプφ16	1
P37	スポンジシート 50×50×3	1
P48	キャップボルト M6 L=15	3
P49	キャップボルト M6 L=20	2
P58	ワッシャ M6 用	5
P63	フランジ付ナット M6	1
P120	ブラケット No. 13	1
P133	ブラケット No. 15	1
P139	キャップボルト M6 L=12	1
P140	キャップボルト M6 L=15	1
P144	ワッシャ M6 用	2
P147	フランジ付ナット M6	1

(1) ①のパイプ No. 2 に②のリリーフバルブを取付ける。



(2) ②のリリーフバルブにホースφ22 L=60を取付ける。

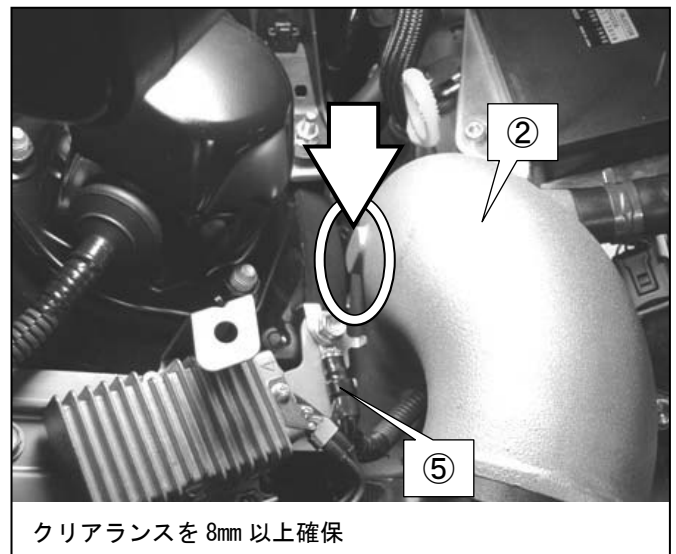
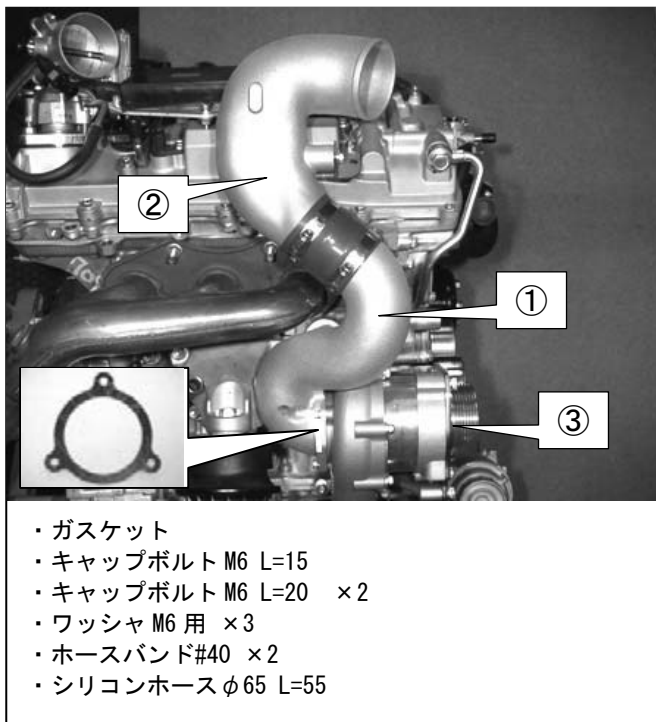
- ・ホースバンド#16

(3) ①、②のサクションパイプを③のGTスーパーチャージャーに仮付けする。

(4) 純正クリーナBOXを取付け、サクションパイプの位置出し後、本締めする。

位置出しは、

- ・純正クリーナBOXを上に持ち上げた状態で合口を決める。
- ・ストラットタワーとのクリアランス8mm以上確保する。

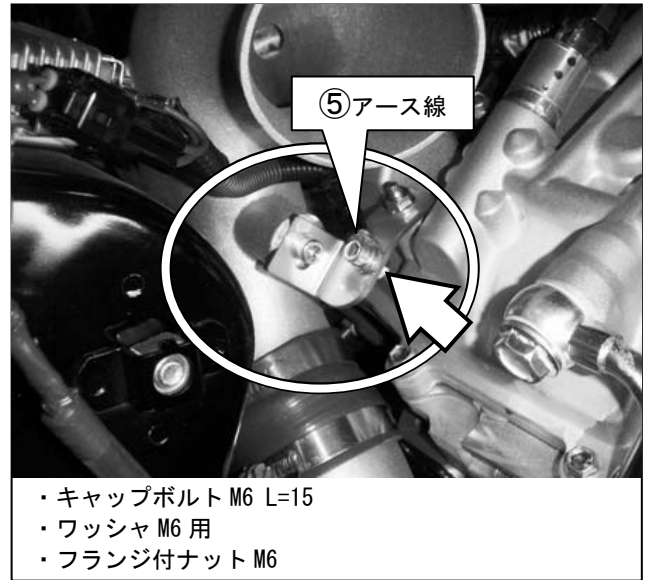
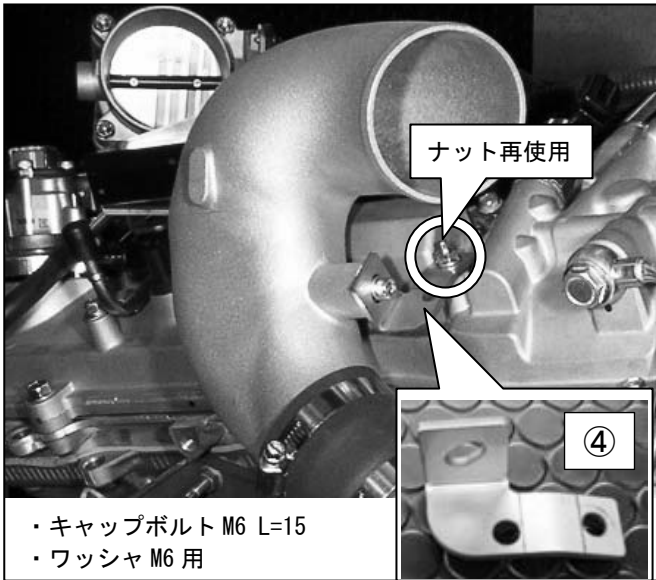


(5) ④のブラケット No. 13を取付ける。

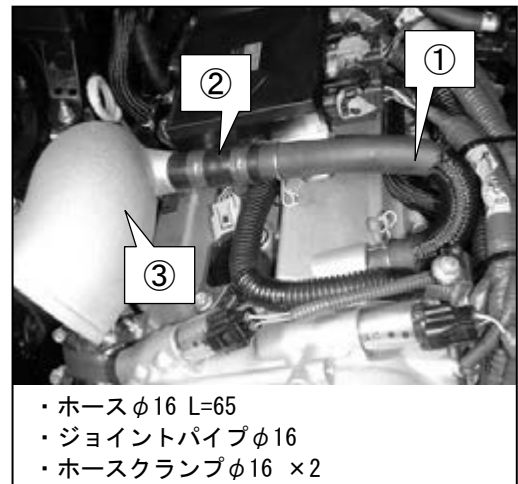
(6) クリーナBOXを取外す。

(7) 取外していた⑤のアースを取付ける。

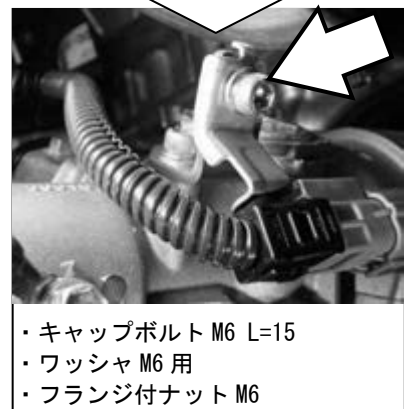
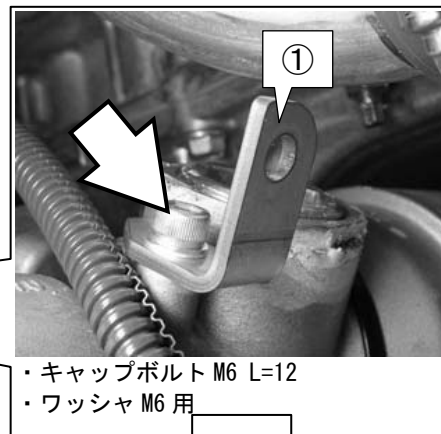
- ・E/G側についていた端子を、車体側に、車体側についていた端子を④のブラケット No. 13に取付ける。



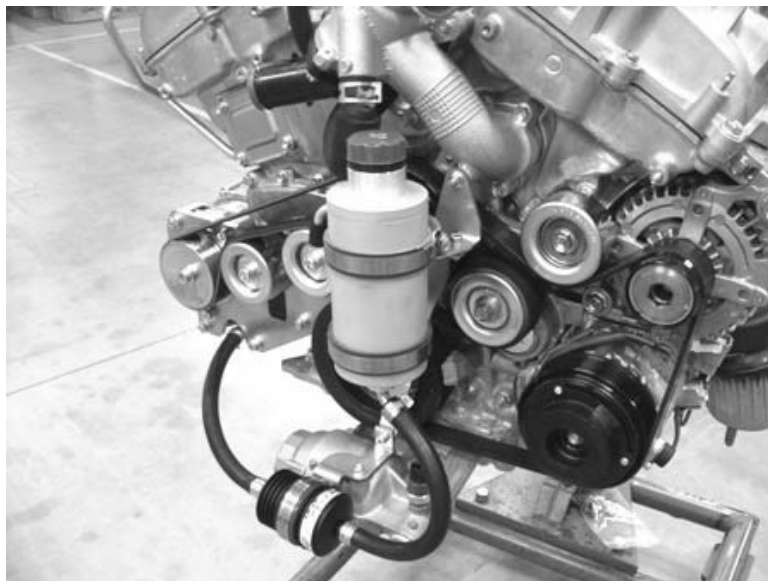
(8) ①のブローバイリターンホースを②のφ16 ホースで延長して③のサクションパイプに接続する。



(9) ①のブラケット No. 15 を使用して、パワーステアリングラックに固定してあるカプラーのブラケットを移動する。

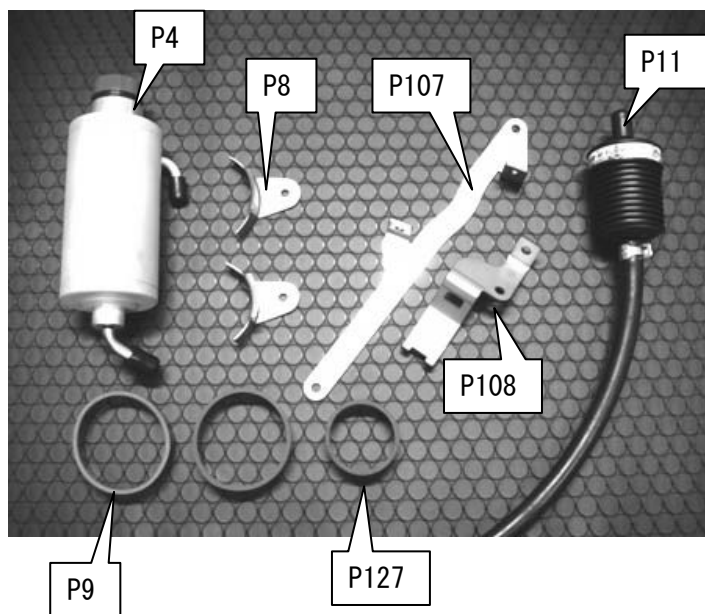


5. オイルタンク、オイルフィルタの取付け



部品装着イメージ

パーツリスト



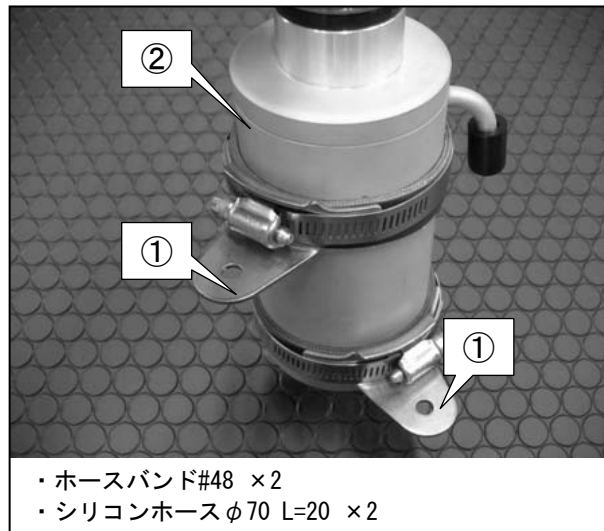
No.	品名	数量
P4	オイルタンク	1
P7	ホースクランプφ10	4
P8	ブラケットφ70用	2
P9	シリコンホースφ70 L=20	2
P10	ホースバンド#48	2
P11	ホース Assy φ10	1
P107	ブラケット No.8	1
P108	ブラケット No.9	1
P127	シリコンホースφ50 L=20	1
P129	ホースバンド#36	1
P137	タイラップ(中)	(4)
P140	キャップボルト M6 L=15	4
P144	ワッシャ M6 用	4
P147	フランジ付ナット M6	4

アドバイス

- ・GT スーパーチャージャーのトラクションオイルに異物が混入すると GT スーパーチャージャーが破損します。
オイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端, ニップルには栓をして作業を行なってください。

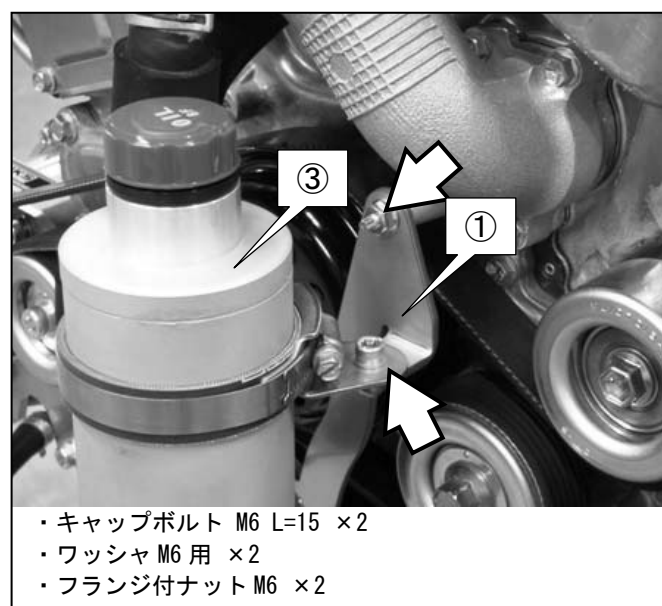
(1) オイルタンク内に異物が無いことを確認する。

(2) ①のブラケットφ70用を②のオイルタンクに取付ける。



(3) ①のブラケットNo. 8、②のブラケットNo. 9を取付ける。

(4) ③のオイルタンクを①のブラケットNo. 8に取付ける。

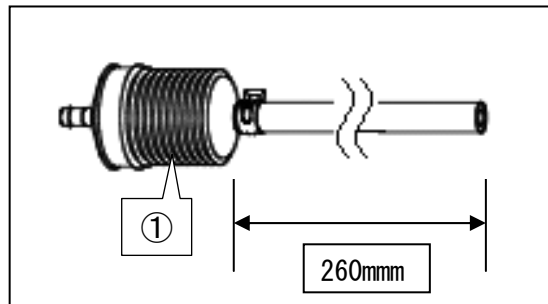


(4) ①のホース Assy $\phi 10$ のホースをオイルフィルタ側から 260 mm で切断する。

(5) 残りのホース Assy $\phi 10$ を 260 mm に切断する。

アドバイス

- ・切断して残ったホース $\phi 10$ は「9. 圧力センサ取付け」と「リリーフバルブ作動圧配管の取付け」の作業で使用するため、なくさないこと。



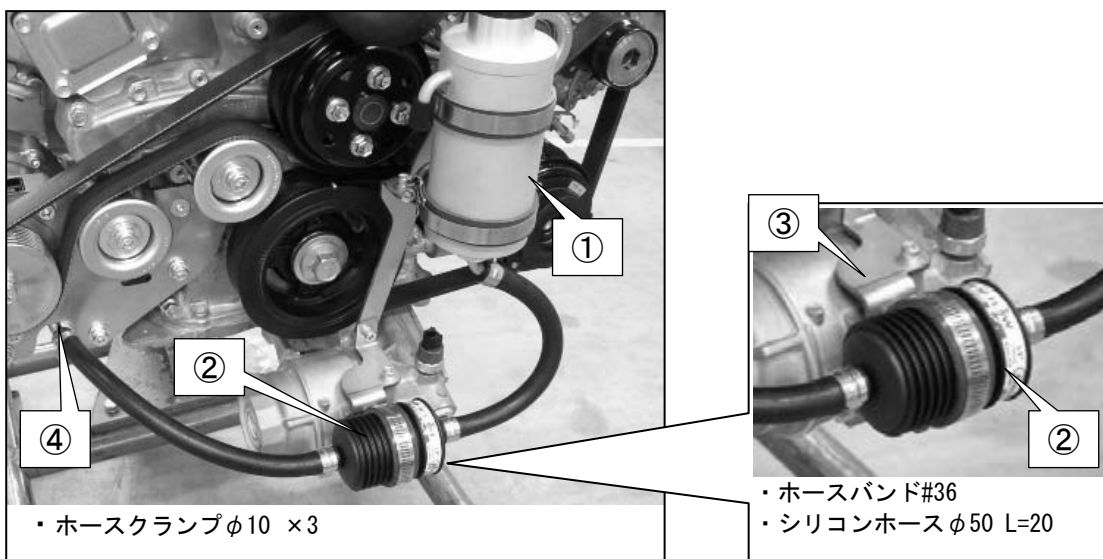
(6) 切断したホース $\phi 10$ で①のオイルタンクと②オイルフィルタを接続する。

アドバイス

- ・オイルフィルタとホースの接続は下図の通り行きオイルフィルタの向きを間違えないこと。

(7) ②のオイルフィルタを③のブラケット No. 9 に取付ける。

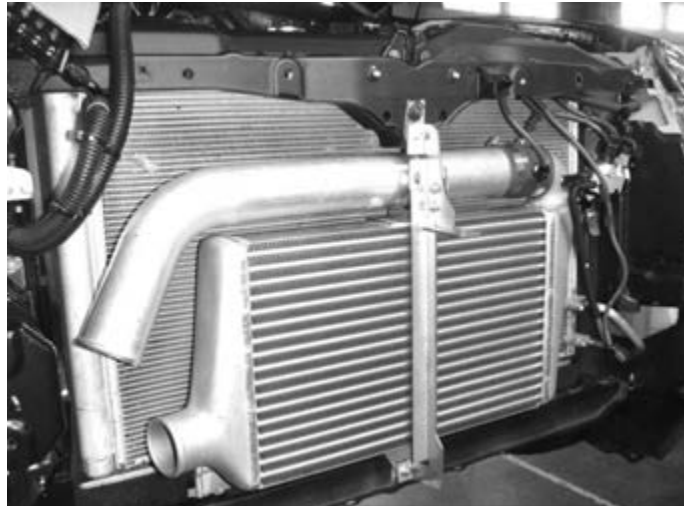
(8) (6) を④の GT スーパーチャージャーの $\phi 10$ ニップルに接続する



(9) 油圧センサーのハーネスをブラケット No. 8 にタイラップで固定する。

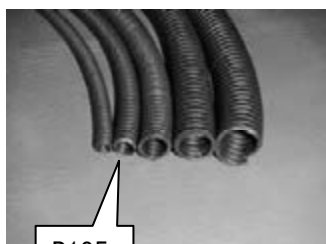
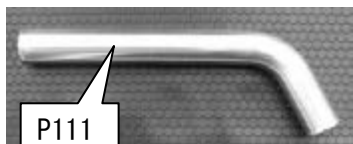
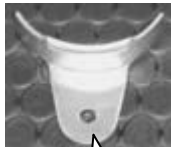
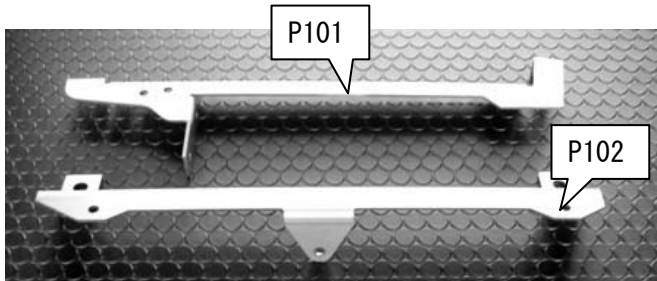
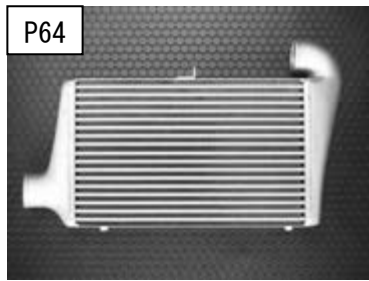
(10) 油圧センサーのカプラーを取付ける。

6. インタークーラーの取付け



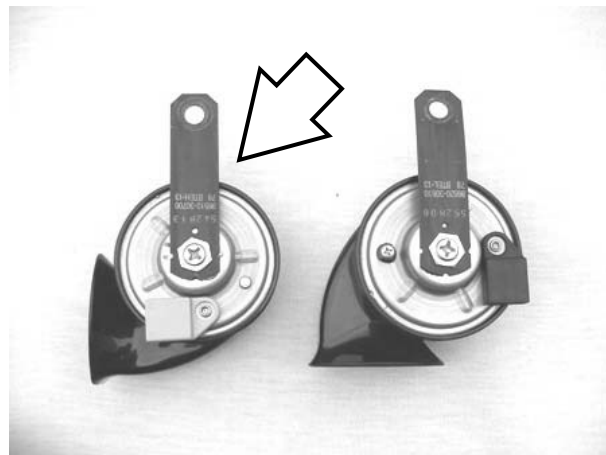
部品装着イメージ

パーツリスト

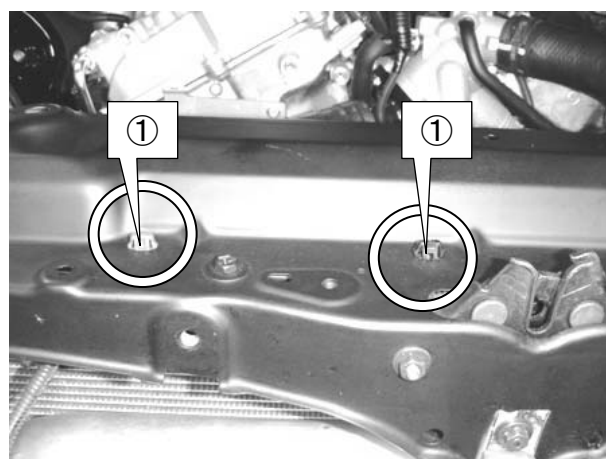


No.	品名	数量
P64	インタークーラー	1
P101	ブラケット No.3	1
P102	ブラケット No.4	1
P103	ブラケット No.5	1
P111	パイプ No.5	1
P118	ブラケット φ60 用	1
P122	シリコンホース φ60 L=70	1
P129	ホースバンド#36	3
P132	ブラケット No.14	1
P134	スペーサー (D20 × d10 × t5)	1
P135	コルゲートチューブ φ7 L=250	1
P137	タイラップ(中)	(2)
P138	タイラップ(小)	(1)
P139	キャップボルト M6 L=12	2
P140	キャップボルト M6 L=15	6
P141	キャップボルト M6 L=20	1
P142	キャップボルト M8 L=15	1
P143	キャップボルト M8 L=20	3
P144	ワッシャ M6 用	9
P145	ワッシャ M6 用 大径	1
P146	ワッシャ M8 用	6
P147	フランジ付ナット M6	4
P148	フランジ付ナット M8	3

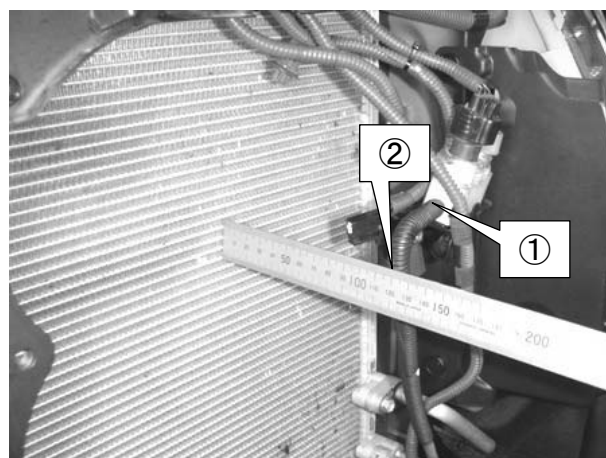
- (1) ホーン（左右）を取外す。
(2) 運転席側ホーンのブラケットの取付け角度を図のように変更する。



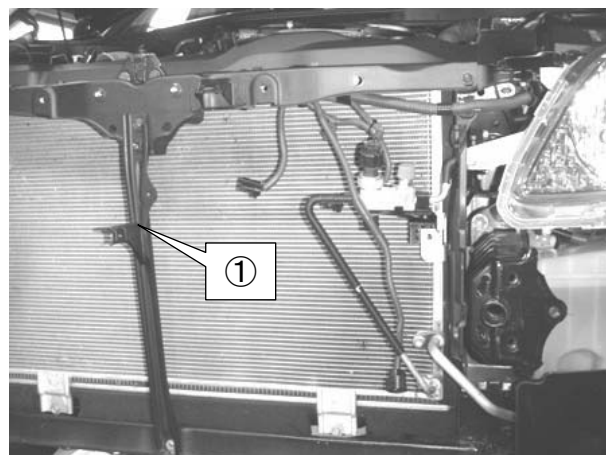
- (3) ①の運転席側ホーンハーネスのクリップを取外し、助手席側ホーン付近までカプラーが届くようにする。



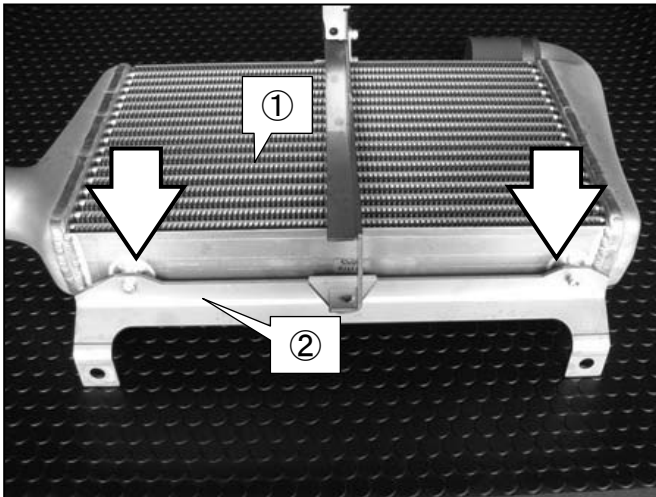
- (4) ①のエアコンパイプの②の位置が、エアコンコンデンサから 120mm 離れるようにを車両前方へ曲げ加工する。
(5) ①のエアコンパイプにコルゲートチューブ $\phi 7$ L=250 を取付ける。



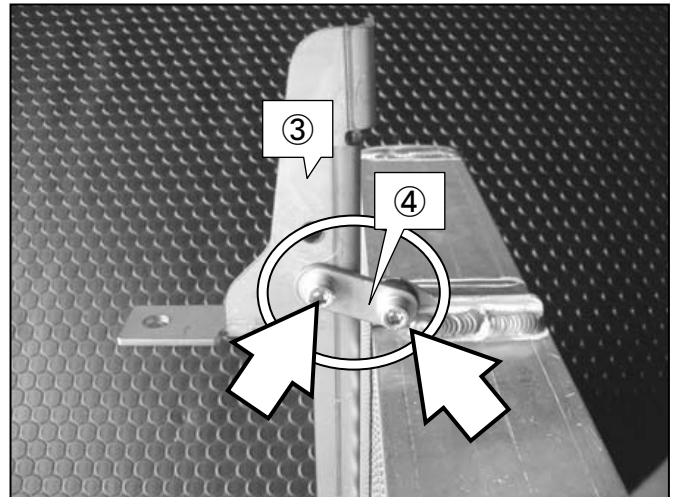
- (6) ①のセンタープレスを取外す。



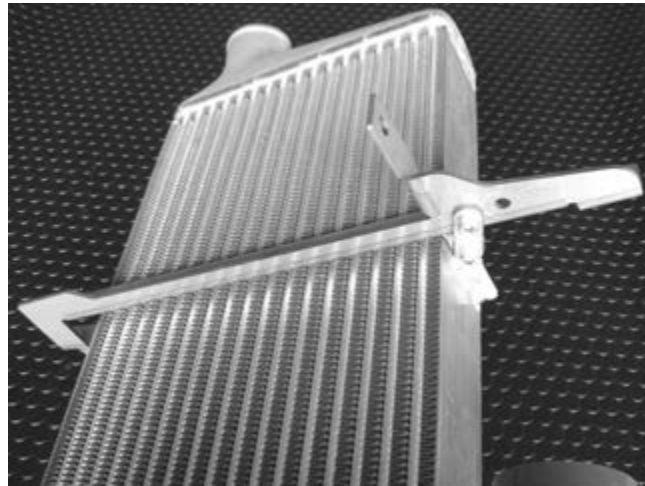
(7) ①の I/C コア ASSY に②のブラケット No. 3、③のブラケット No. 4、④のブラケット No. 5 を取付ける。



- ・キャップボルト M6 L=12 ×2
- ・ワッシャ M6 用 ×2



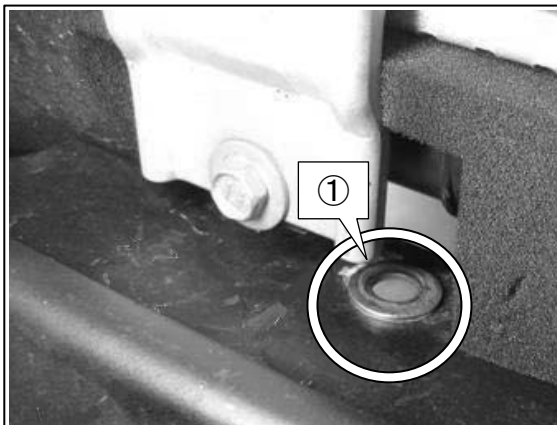
- ・キャップボルト M6 L=15 ×4
- ・ワッシャ M6 用 ×2
- ・フランジ付ナット M6 ×2



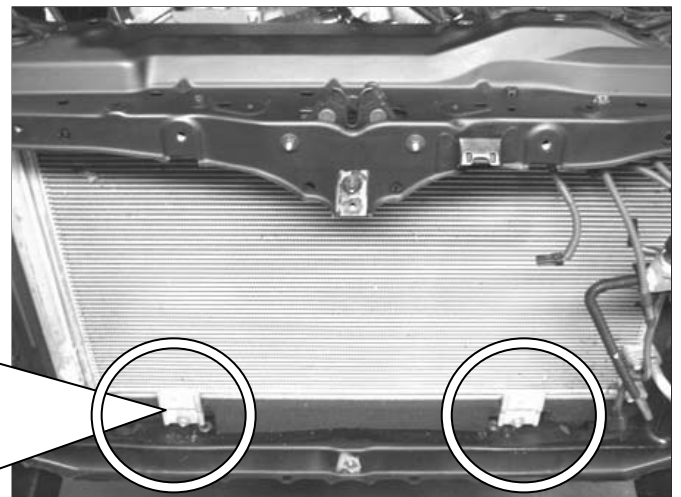
(8) I/C コア ASSY を車両に取付ける

アドバイス

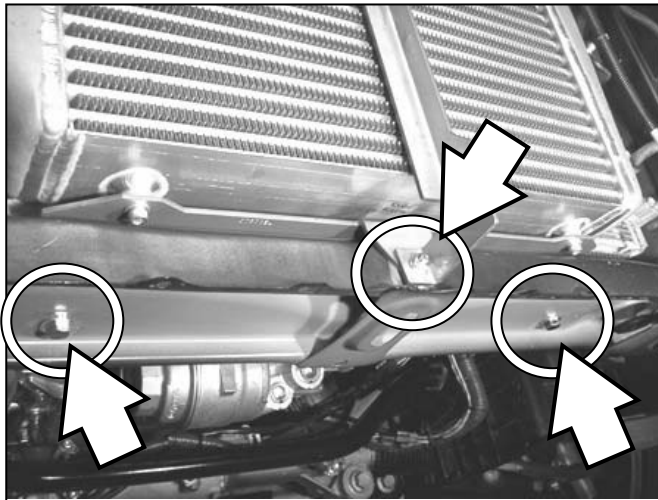
- ・エアコンコンデンサを傷つけないようにすること。



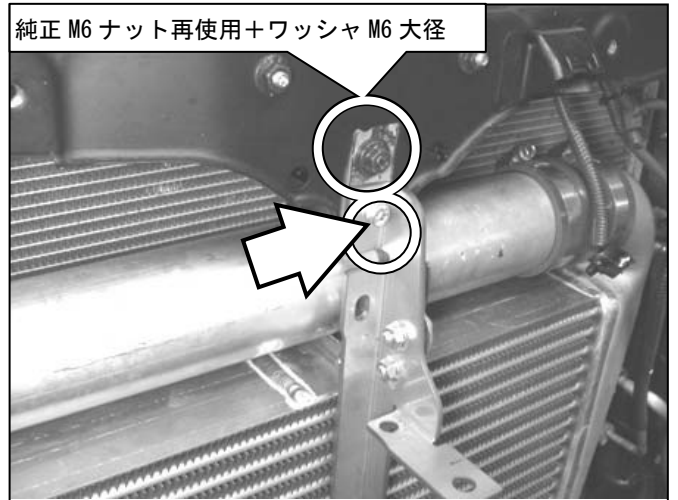
- ・①のワッシャ M8 用を介して取付ける (左右とも)



- ・ワッシャ M8 用 ×2

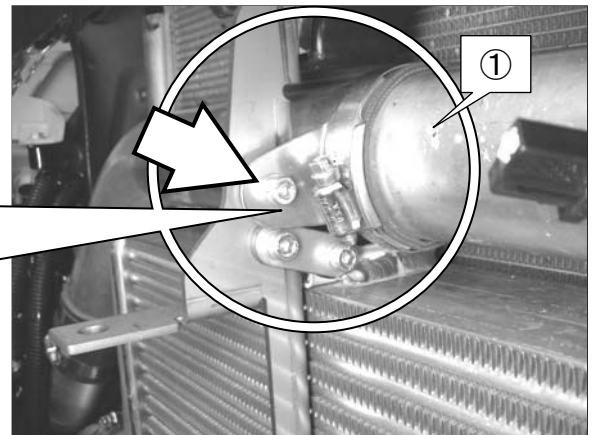
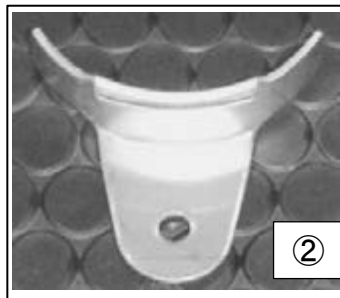


- ・キャップボルト M6 L=20
- ・キャップボルト M8 L=20 ×2
- ・フランジ付ナット M8 ×2
- ・ワッシャ M6 用
- ・ワッシャ M8 用 ×2



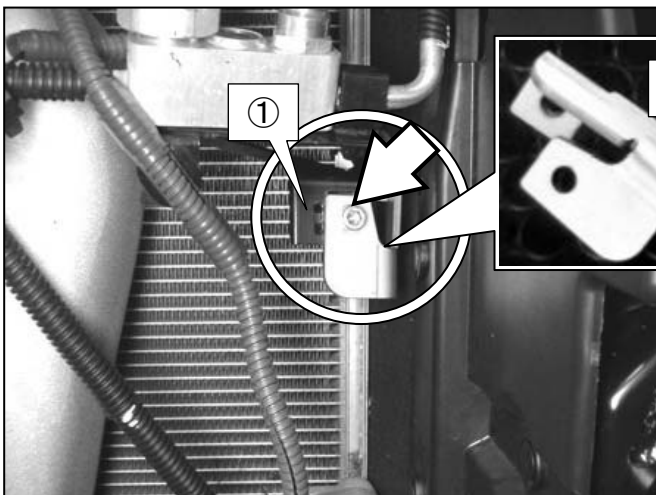
- 純正 M6 ナット再使用+ワッシャ M6 大径
- ・キャップボルト M6 L=15
 - ・ワッシャ M6 用
 - ・ワッシャ M6 用 大径

(9) ①のパイプ No. 5 にシリコンホース φ60 L=20 を取付け、I/C コア ASSY に仮付けする。

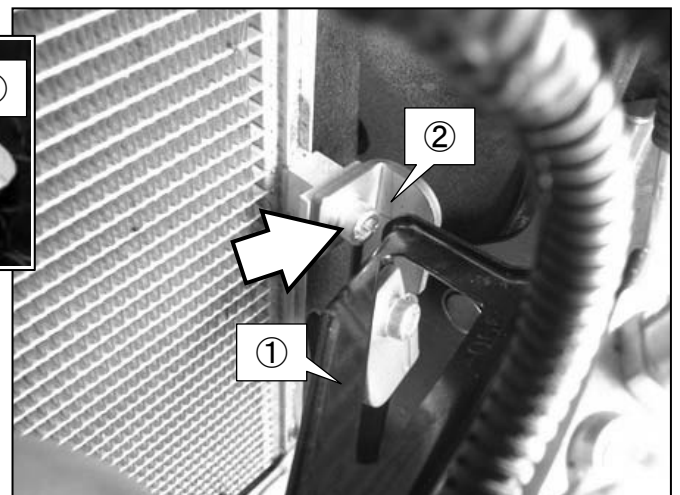


- ・シリコンホース φ60 L=70
- ・シリコンホース φ60 L=20
- ・ホースバンド#36 ×3
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット M6

(10) ①のエアコンパイプのブラケットを②のブラケット No. 14 で固定する。



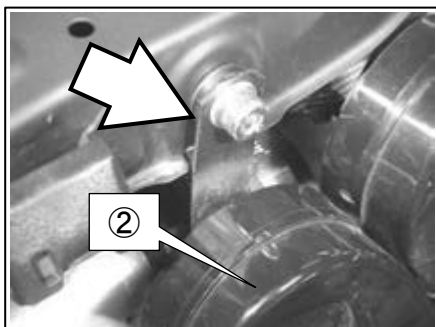
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット M6



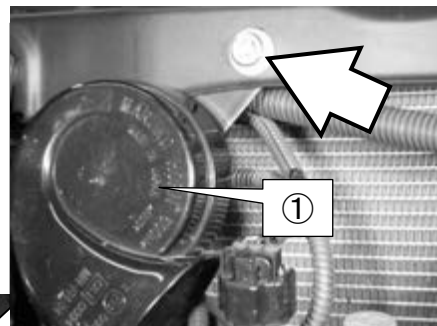
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用

(11) ホーンを移動して取付ける。

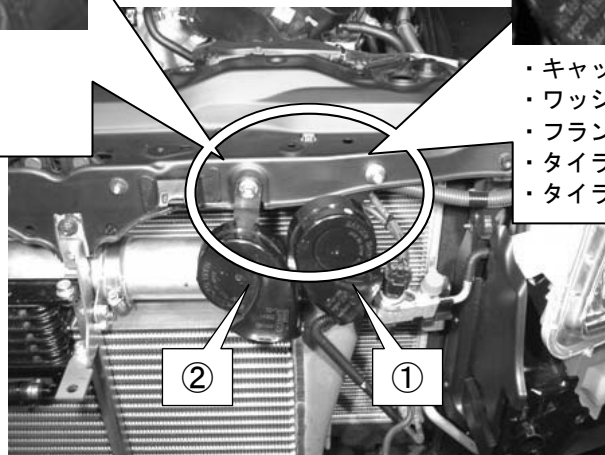
(12) 余分なハーネスをタイラップで束ねる



- ・スペーサー (D20×d10×t5)
- ・キャップボルト M8 L=20
- ・ワッシャ M8 用



- ・キャップボルト M8 L=15
- ・ワッシャ M8 用
- ・フランジ付ナット M8
- ・タイラップ(中) ×2
- ・タイラップ(小) ×1

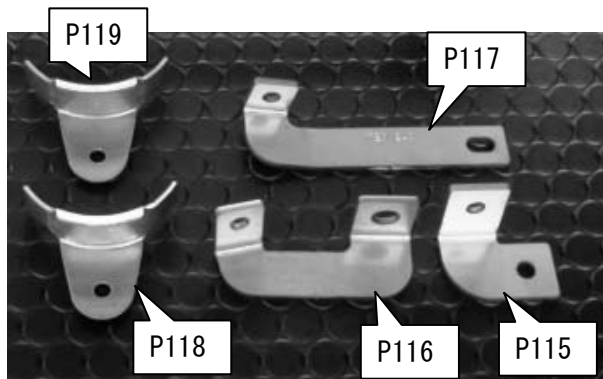
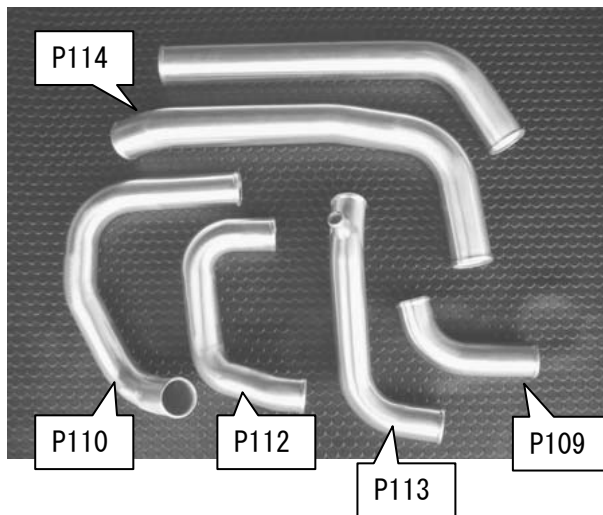


7. インタークーラーパイプの取付け



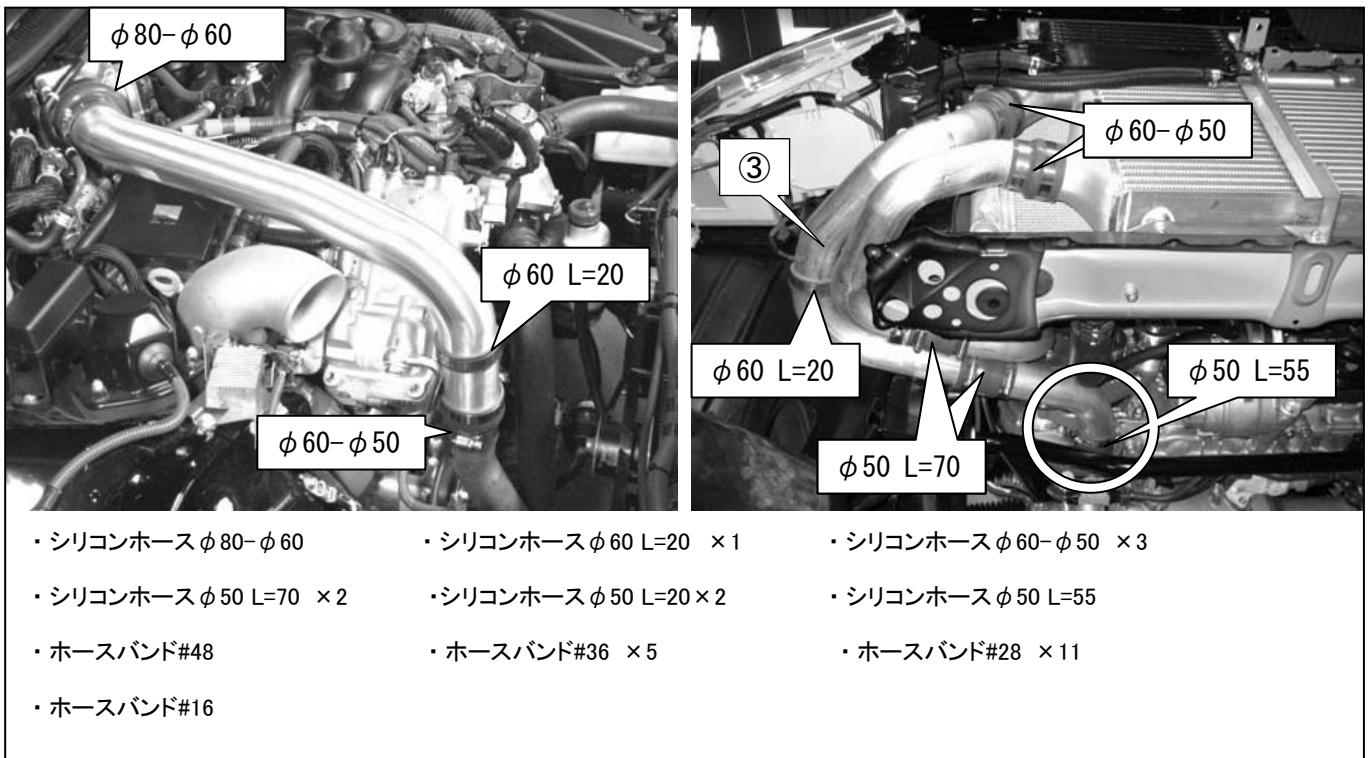
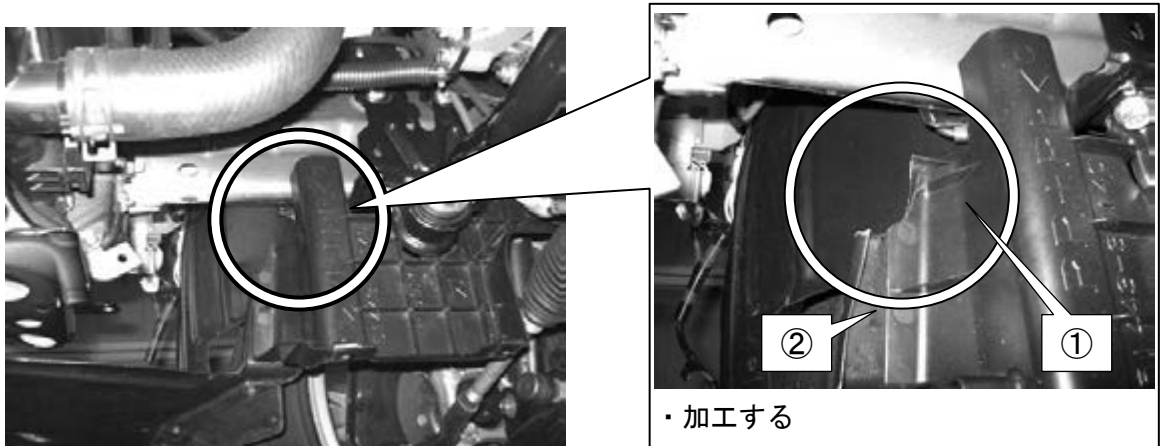
部品装着イメージ

パーツリスト

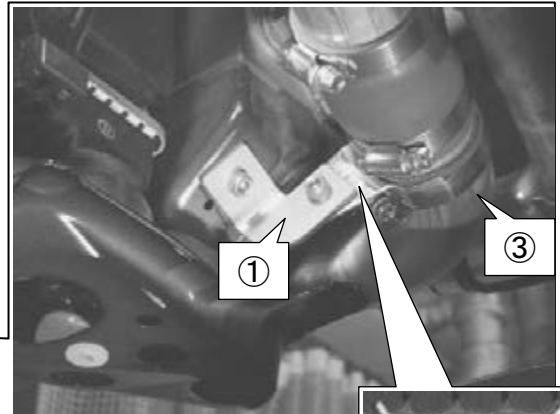
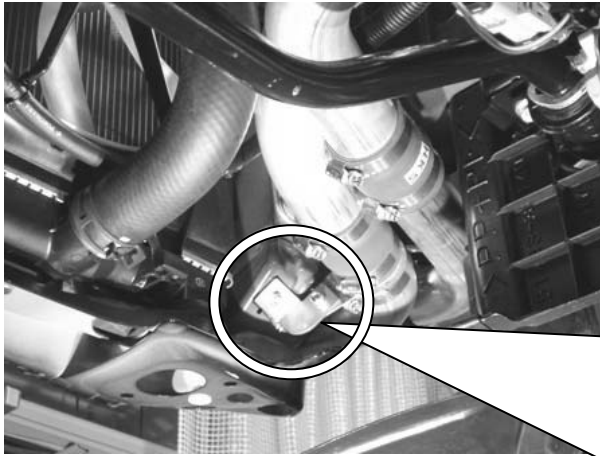


No.	品名	数量
P32	ホースバンド#16	1
P109	パイプ No.3	1
P110	パイプ No.4	1
P112	パイプ No.6	1
P113	パイプ No.7	1
P114	パイプ No.8	1
P115	ブラケット No.10	1
P116	ブラケット No.11	1
P117	ブラケット No.12	1
P118	ブラケット φ60 用	1
P119	ブラケット φ50 用	2
P121	シリコンホース φ80-φ60	1
P123	シリコンホース φ60 L=20	2
P124	シリコンホース φ60-φ50	3
P125	シリコンホース φ50 L=70	2
P126	シリコンホース φ50 L=55	1
P127	シリコンホース φ50 L=20	2
P128	ホースバンド#48	1
P129	ホースバンド#36	5
P130	ホースバンド#28	11
P131	スポンジシート 50×50×3	3
P137	タイラップ(中)	(2)
P138	タイラップ(小)	(2)
P140	キャップボルト M6 L=15	5
P144	ワッシャ M6 用	5
P147	フランジ付ナット M6	3

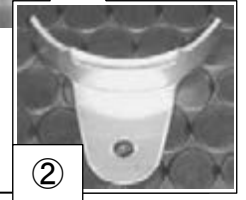
- (1) ①のエンジンアンダーカバー（右側）と②のインナーフェンダーを、③のパイプ No. 4 と干渉しないように加工する。
- (2) パイプ No. 4 にシリコンホースφ50 L=20 を通しておく。
- (3) パイプ No. 8 にシリコンホースφ60 L=20 を通しておく。
- (4) 図のようにパイプ No. 3～No. 8 を取付ける。



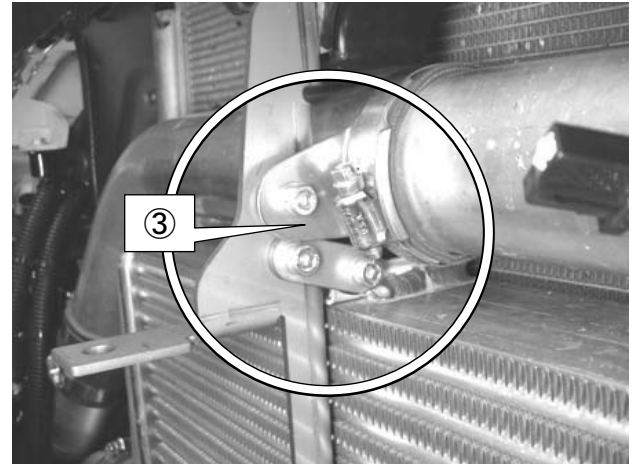
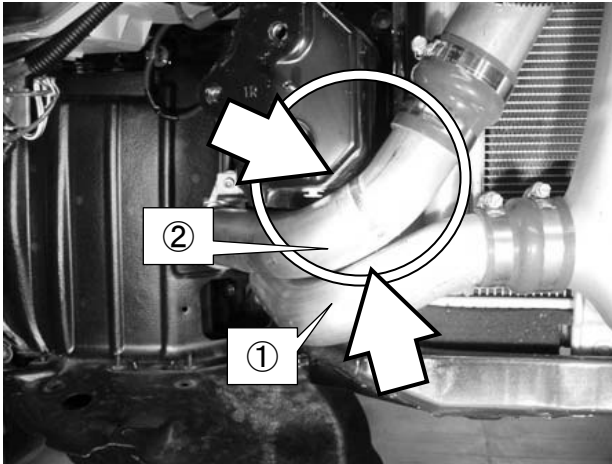
(5) ①のブラケット No. 10 と②のブラケットφ50用を使用して、③のパイプ No. 4 を固定する。



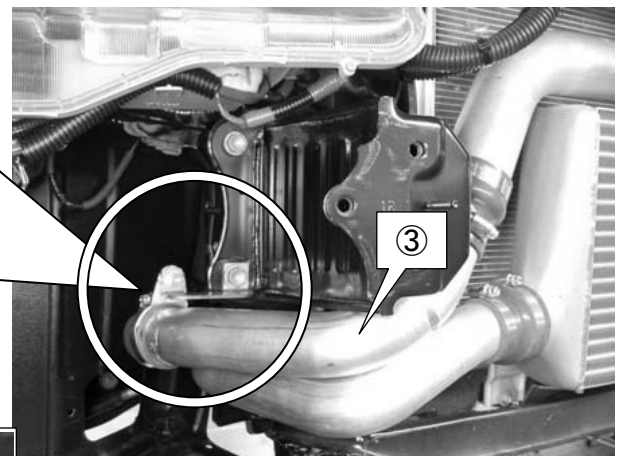
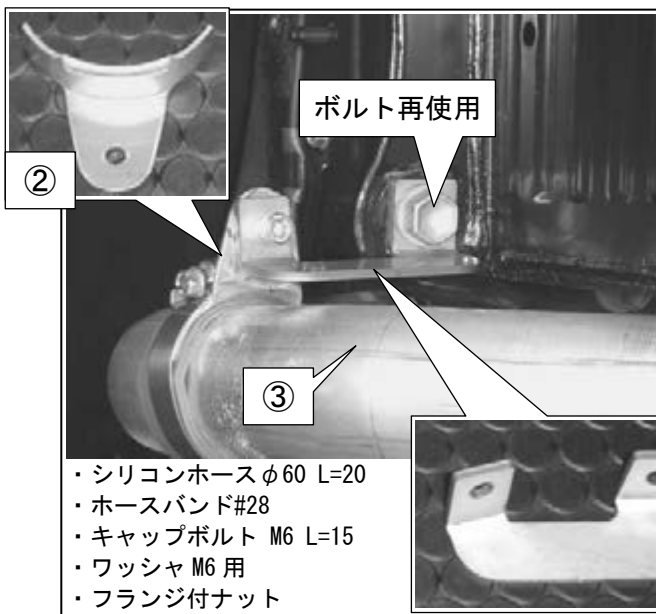
- ・シリコンホースφ50 L=20
- ・ホースバンド#28
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット M6



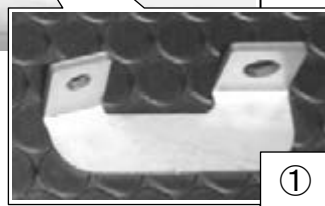
(6) ①のパイプ No. 4 と②のパイプ No. 6 および車体のクリアランスが狭い部分にスポンジシートを張る。
 (7) 仮止めしていた③のブラケットφ60用を固定する。



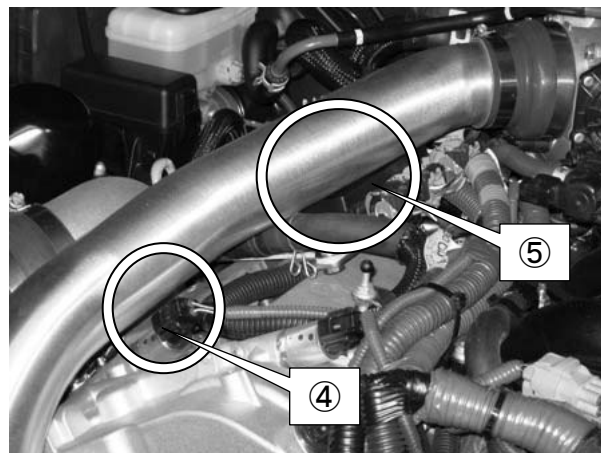
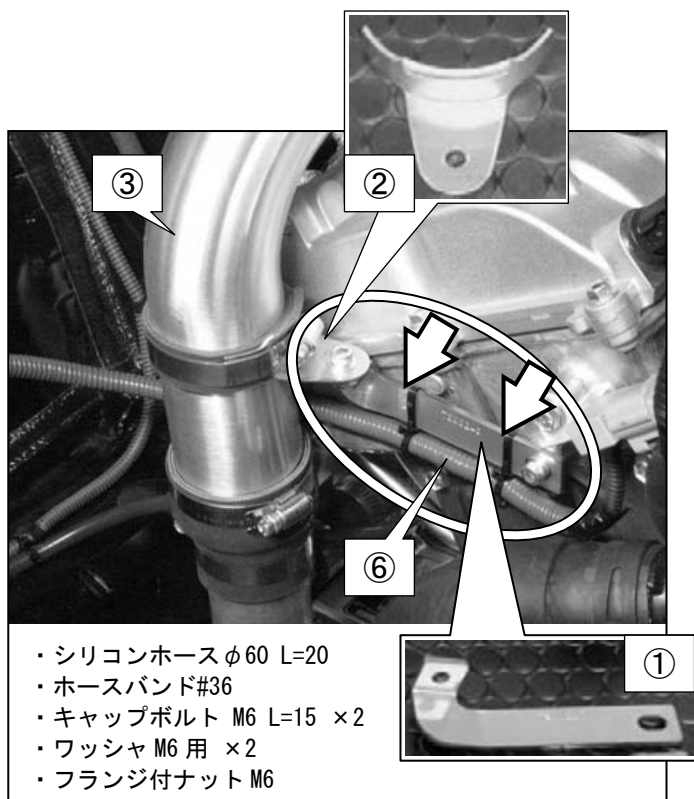
(8) ①のブラケット No. 11 と②のブラケットφ50用を使用して、③のパイプ No. 6 を固定する。



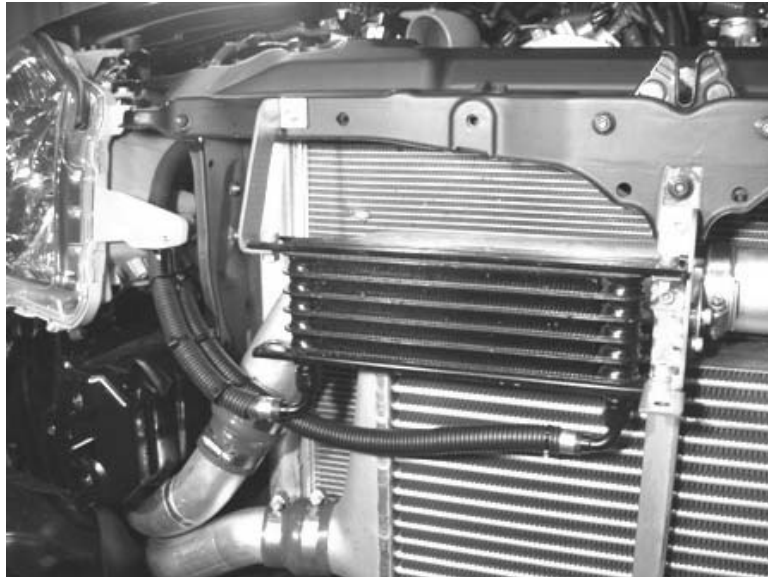
- ・シリコンホースφ60 L=20
- ・ホースバンド#28
- ・キャップボルト M6 L=15
- ・ワッシャ M6 用
- ・フランジ付ナット



- (9) ①のブラケット No. 12 と②のブラケットφ60 を使用して、③のパイプ No. 8 を固定する。
 その際、④の油圧ソレノイドのカプラとのクリアランス、⑤のインジェクタドライバとパイプ No. 8 のクリアランスを、3mm 以上確保できるように位置出しを行う。必要に応じてスポンジシートを使用する。
- (10) ③のパイプ No. 8 を固定後、⑥のエアフロセンサーハーネスを①のブラケット No. 12 にタイラップで固定する。

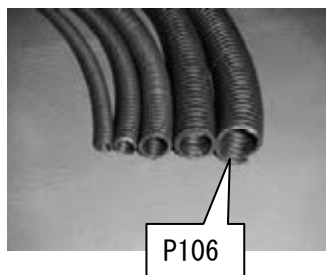
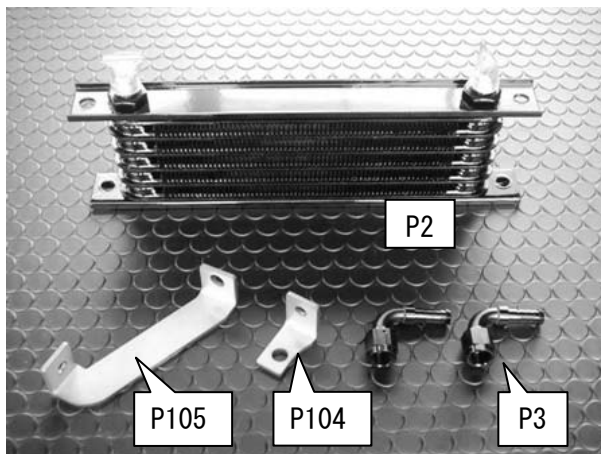


8. オイルクーラーの取付け



部品装着イメージ

パーツリスト

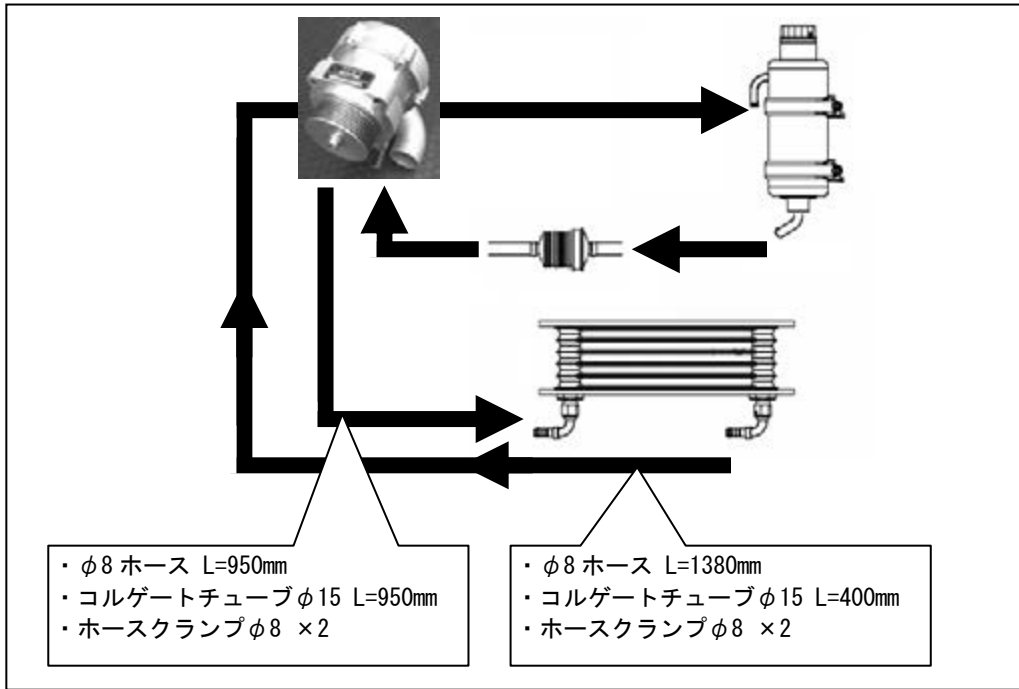


No.	品名	数量
P2	オイルクーラーコア	1
P3	フィッティング	2
P6	ホースクランプφ8	4
P12	ホースφ8 L=2500	1
P104	ブラケット No.6	1
P105	ブラケット No.7	1
P106	コルゲートチューブφ15 L=1000	1
P136	タイラップ(大)	(6)
P137	タイラップ(中)	(15)
P138	タイラップ(小)	(14)
P140	キャップボルト M6 L=15	2
P142	キャップボルト M8 L=15	3
P144	ワッシャ M6 用	2
P146	ワッシャ M8 用	3
P147	フランジ付ナット M6	1
P148	フランジ付ナット M8	3

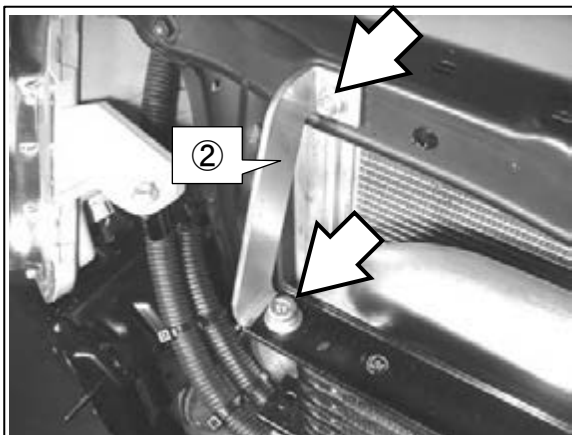
アドバイス

- ・GT スーパーチャージャーのトラクションオイルに異物が混入するとGT スーパーチャージャーが破損します。
オイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端、ニップルには栓をして作業を行なってください。
- ・後席エアコンディショナーつき車両の場合は加工取付けが必要です。概要は50ページをご参照ください。

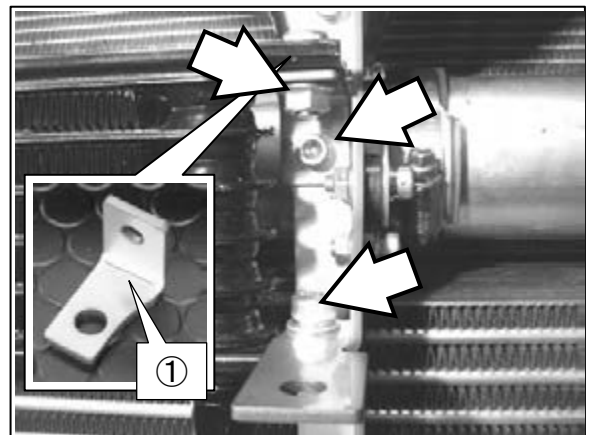
○図にトラクションオイル配管図を示します。以降の作業は図を参照し、配管の間違いないように作業を行ってください。



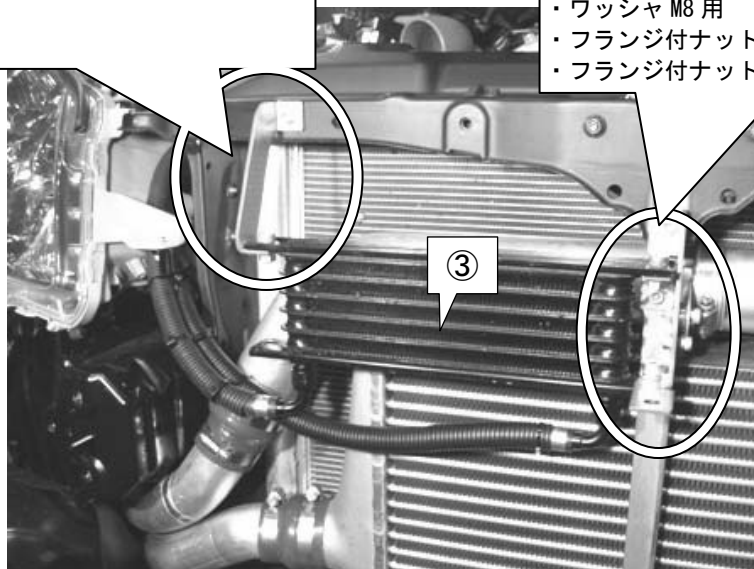
(1)①のブラケット No. 6、②のブラケット No. 7 を使用して、③のオイルクーラーコアを取付ける。



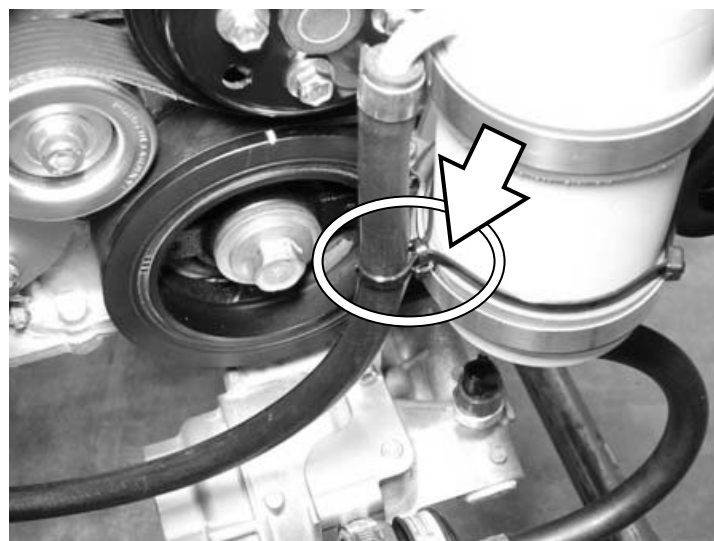
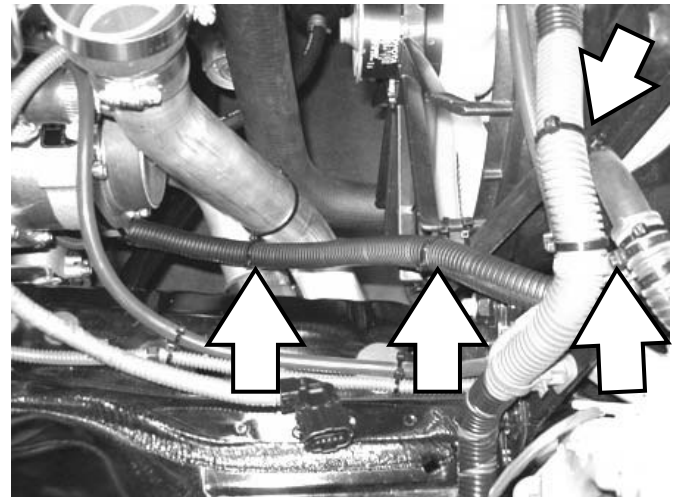
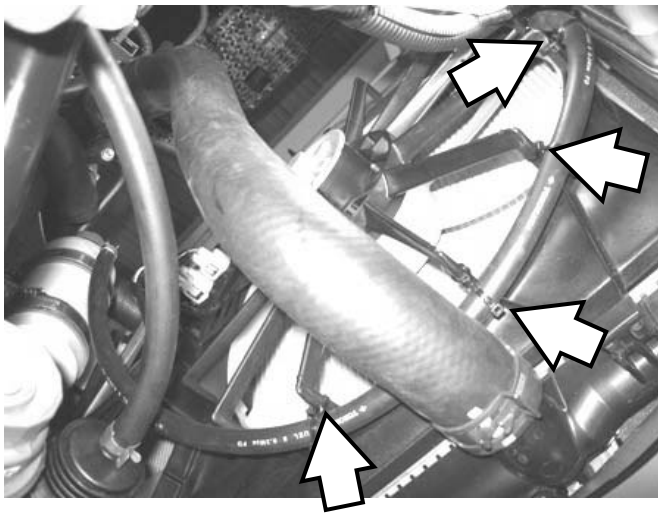
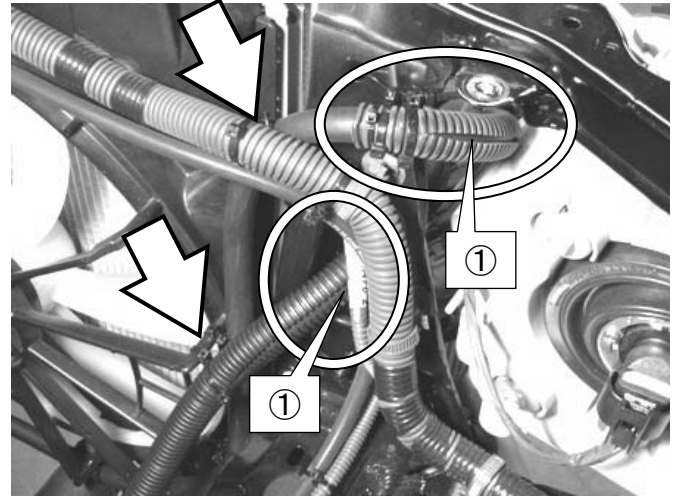
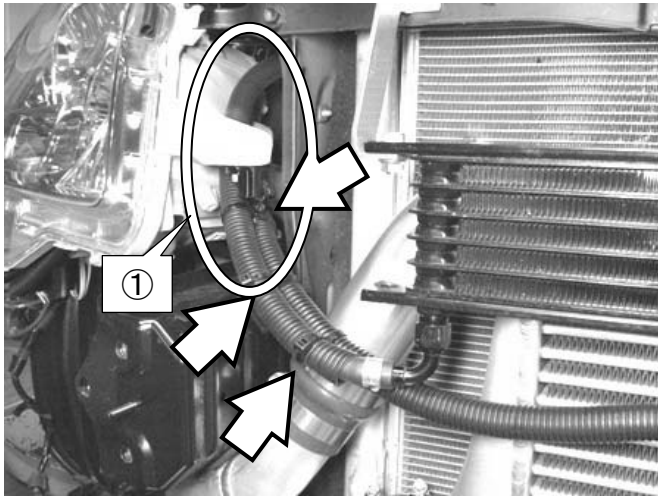
- ・ キャップボルト M6 L=15
- ・ キャップボルト M8 L=15
- ・ ワッシャ M6 用
- ・ ワッシャ M8 用
- ・ フランジ付ナット M8



- ・ キャップボルト M6 L=15
- ・ キャップボルト M8 L=15
- ・ ワッシャ M6 用
- ・ ワッシャ M8 用
- ・ フランジ付ナット M6
- ・ フランジ付ナット M8



- (2) φ8 ホースを 950mm と 1380mm に切り分ける。
- (3) フィッティングと (2) のホースを使用して、GT スーパーチャージャーとオイルクーラー、オイルクーラーとオイルタンクを接続する。ホースは運転席ヘッドライト取付部 (図中①の円で囲んだ部分) を通して、エンジンルームへ導入する。
- (4) φ8 ホースにコルゲートチューブを被せる。
- (5) タイラップでホースφ8 を固定する。

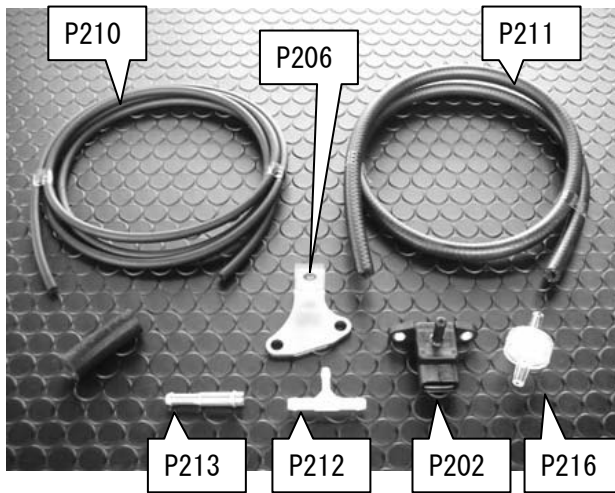


9. 圧力センサ取付けとリリーフバルブ作動圧配管の取付け



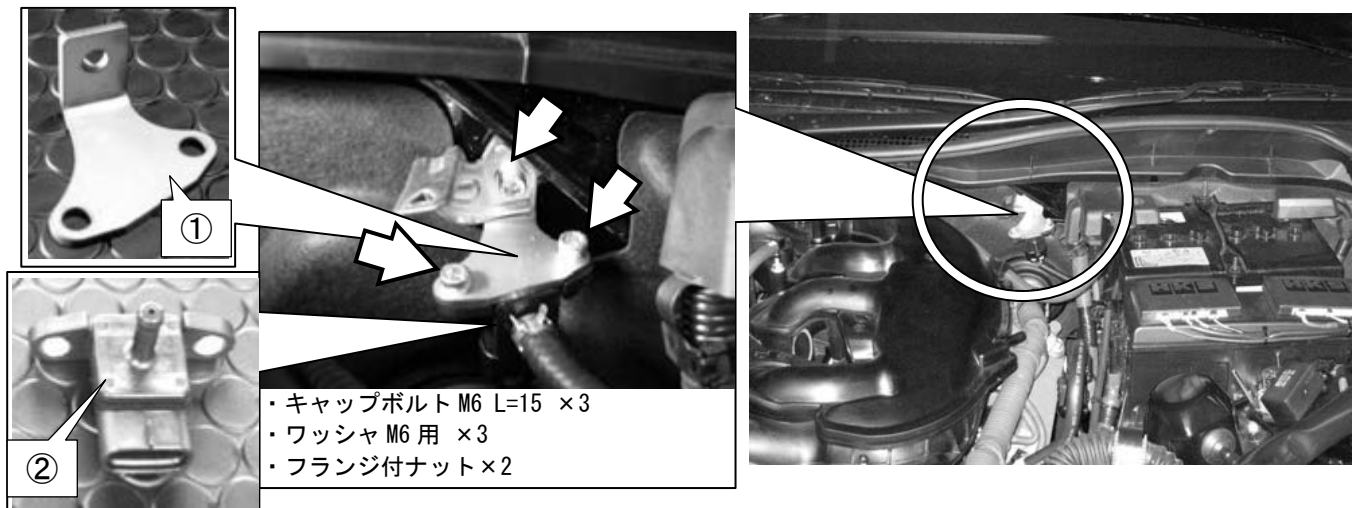
部品装着イメージ

パーツリスト



No.	品名	数量
P136	タイタップ(大)	(1)
P137	タイラップ(中)	(12)
P138	タイラップ(小)	(13)
P202	圧力センサー	1
P206	ブラケット No.16	1
P207	キャップボルト M6 L=15	3
P208	ワッシャ M6 用	3
P209	フランジ付ナット M6	2
P210	ホース φ4 L=2000	1
P211	ホース φ6 L=500	1
P212	スリーウェイ φ6-φ4-φ6	1
P213	ジョイントパイプ φ8-φ6	1
P214	ホースクランプ φ6	6
P215	ホースバンド#4	2
P216	エアフィルタ φ6	1

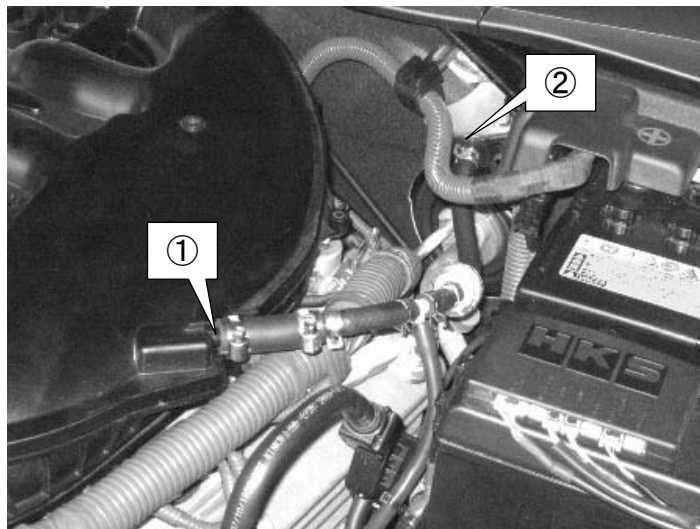
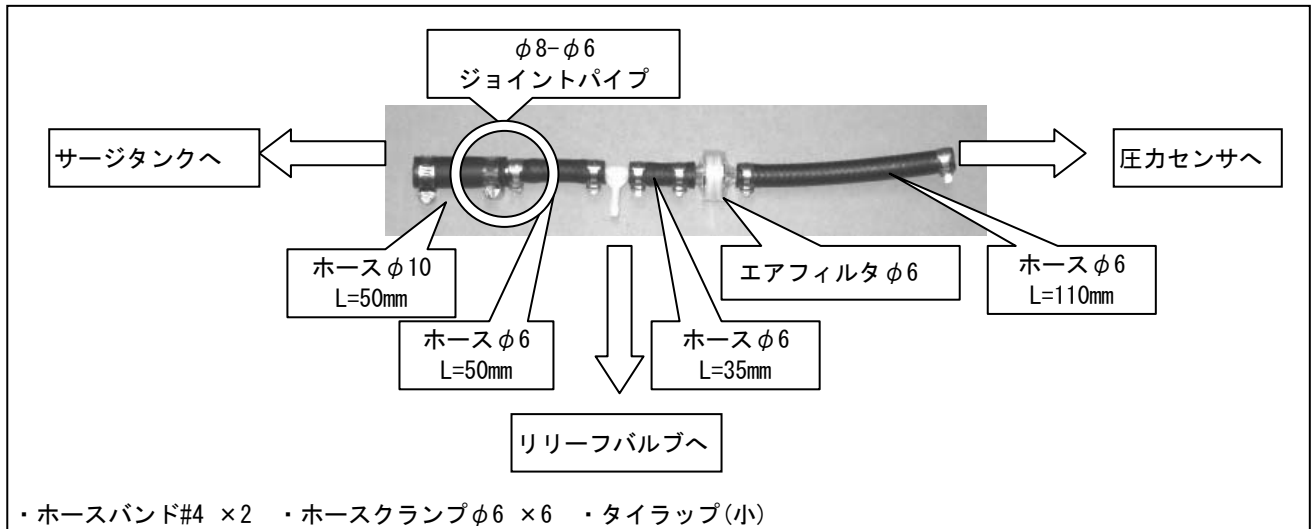
(1)①のブラケット No. 16 を使用して、②の圧力センサを取付ける。



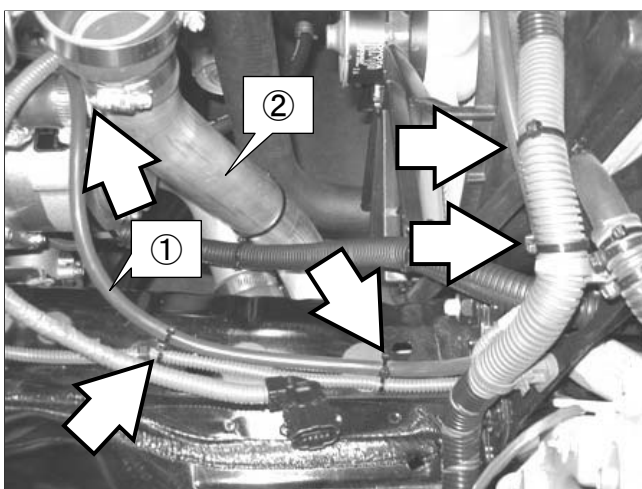
(2) ①のサージタンクのφ10 ニップルとリリースバルブ、②の圧力センサを接続する。

・ホースφ6は、L=500を切断して使用する。

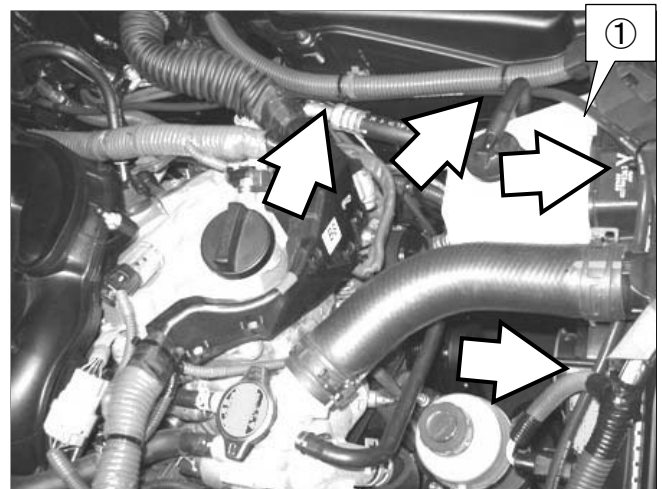
・ホースφ10は、5. オイルタンク、オイルフィルタの取付けで切断したホースφ10の残りを使用する。



(3) 接続したホースφ4を、②のパイプNo.7および車体にタイラップで固定する。

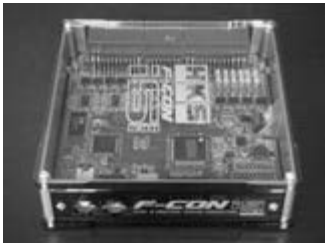










・タイラップ(大)×1
・タイラップ(中)×5
・タイラップ(小)×5



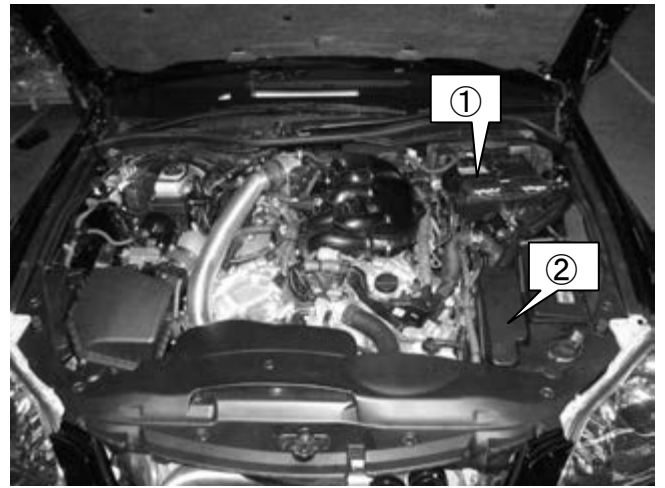
・タイラップ(中)×7
・タイラップ(小)×7

10. E/G 制御系部品の取付け

パーツリスト		
No.	品名	数量
 P201-1	専用 F-CON iS	1
 P201-2	OSC	1
 P201-3	OSC ハーネス	1
 P201-4	F-CON iS 通信ケーブル	1
 P203	F-CON +VAC ハーネス	1
 P204	INJ アダプタ 2GR	1
 P205	VAC T-606 ※) 12001-AT001 に付属。 12001-AT002 の場合は、お持ちの VAC T606 の VAC 本体を使用し てください。	1
 P217	GCC コネクタ	1
 P218	GCC 端子	10

※F-CON iS に同梱されているオプションパーツリストの内、ミクスチャーコントローラーは本製品では使用できません。また、ミクスチャーコントローラー以外のオプションパーツは本製品に含まれていないので別途お買い求めの必要はありません。

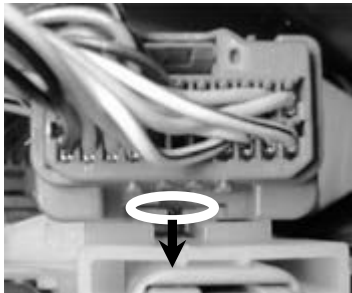
- (1) ①のバッテリーを取外す。
- (2) ③の ECU ボックスの蓋を取外す。



- (3) ECU ボックス内の①②③のコネクタを、⑥の白い樹脂ケースから取外す。

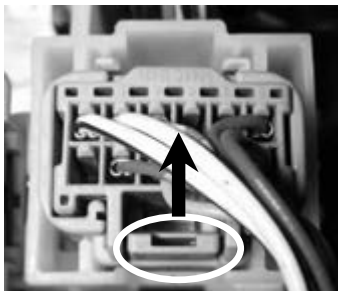
・ ①(②③) 取外し方法詳細

下図枠部に精密ドライバ(一)等を差し込み、矢印の方向にコネクタのロックを外しながらコネクタを引き上げる。



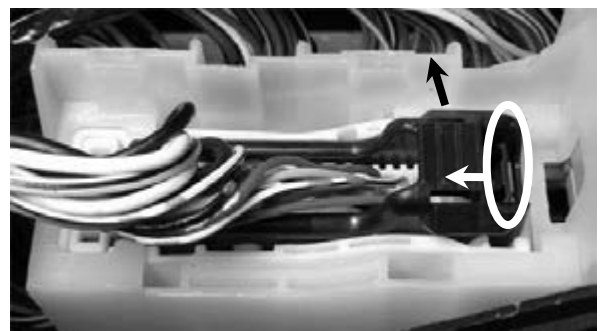
・ ④取外し方法詳細

下図枠内のロックを矢印方向に押し解除し、コネクタを引き上げる。



・ ⑤取外し方法詳細

右図枠内のロックを矢印方向に押し解除し、黒い樹脂を上方に引上げる。コネクタを引上げる。



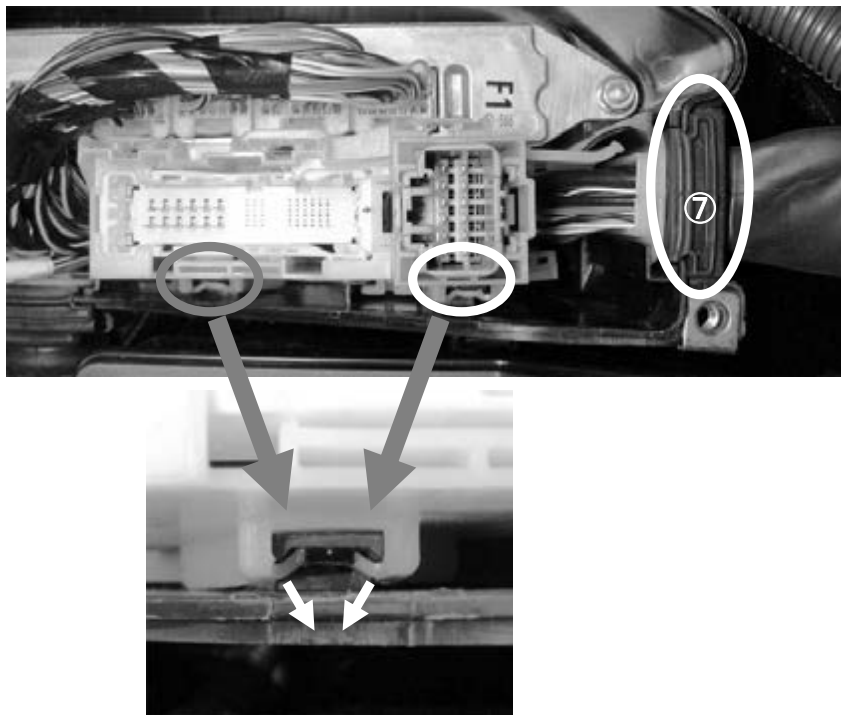
(4) (3)⑥の白い樹脂ケースを ECU
ボックスから取外す。

・⑥取外し方法詳細

右図枠内 2 箇所ロックを拡大図の
矢印の方向に外して、⑦のゴムシール
と共に引上げて取り外す。

アドバイス

ロック部の樹脂をドライヤ等で
温めておくと、外す際に割れにく
くなります。



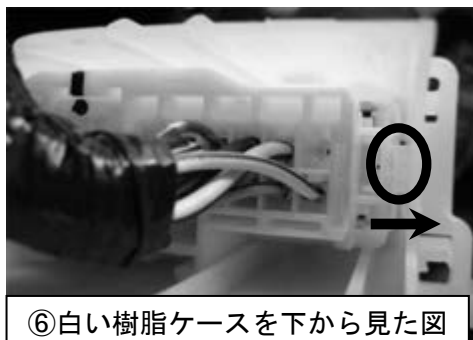
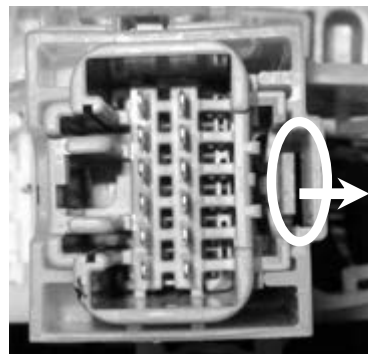
(5) (4)で外した⑥の白い樹脂ケースから(3)で外した④
⑤の相手方コネクタを取外す。

・④相手方コネクタ取外し方法詳細

右図枠内のロックを矢印の方向に外して、④の相手方
コネクタを下方に押し下げ取外す。

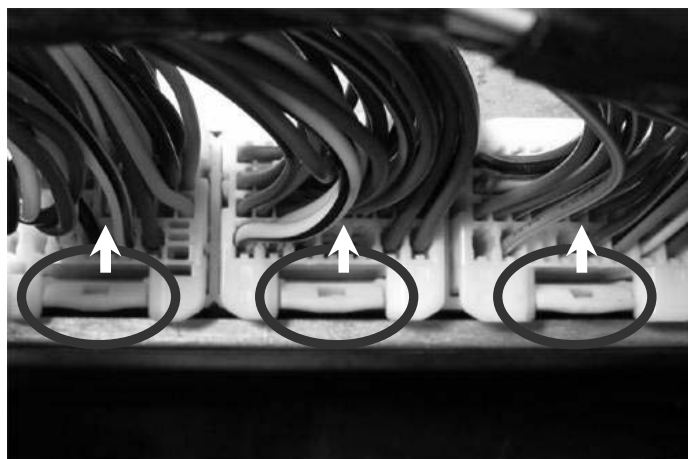
・⑤相手方コネクタ取外し方法詳細

下図枠内のロック(2箇所)を矢印の方向に外して、⑤の
相手方コネクタを下方に押し下げ取外す。



⑥白い樹脂ケースを下から見た図

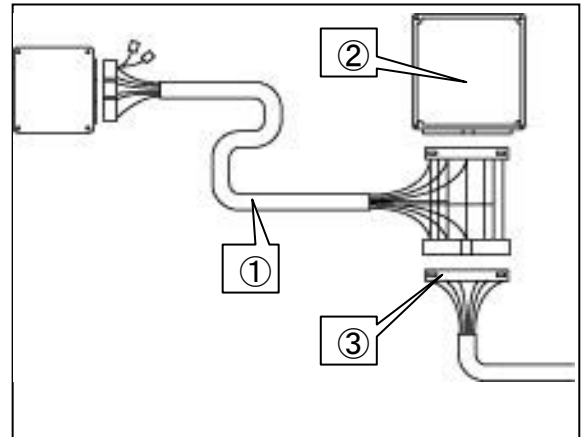
(6) 右図枠内のロックを矢印の方向に外して、
ECUのコネクタを6個取外す。



(7) ①の F-CON+VAC ハーネスを②の ECU と③の車両側ハーネス間に接続する。

アドバイス

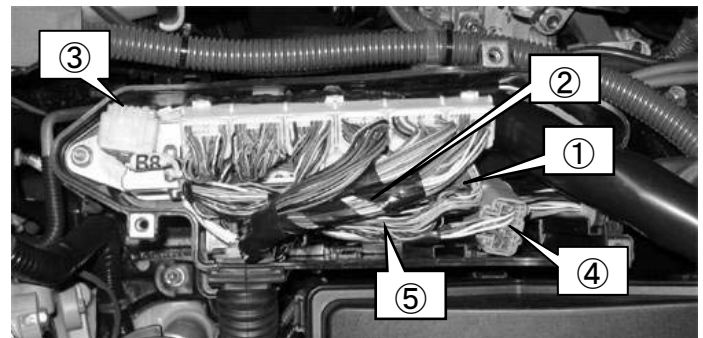
- ・コネクタのロックが“カチッ”となるまで挿入し、6個のコネクタを確実に接続する。



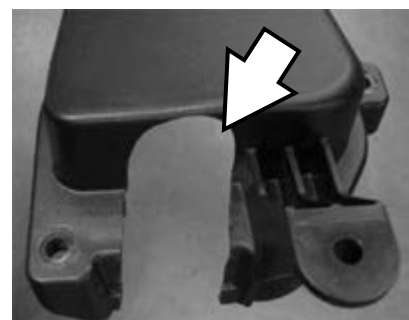
(8) (3)で取外した④⑤コネクタを相手方コネクタに接続する。



(9) (3)の①～⑤コネクタを右図のように配置し、ECUボックスの蓋を取付ける準備をする。必要に応じて配線をタイラップで固定し、ECUボックスの蓋を取付ける際に配線を挟まないようにする。下図のコネクタは使用しないため、絶縁してECUボックス内に固定する。



(10) ECUボックスの蓋を F-CON+VAC ハーネスが通るよう加工する。



(11) ECU ボックスの蓋を取付ける。

(12) バッテリ横の右図のグロメット部から F-CON+VAC
ハーネスを車室内に引き込む。

(13) ⑤のコネクタはエンジンルームに残してください。

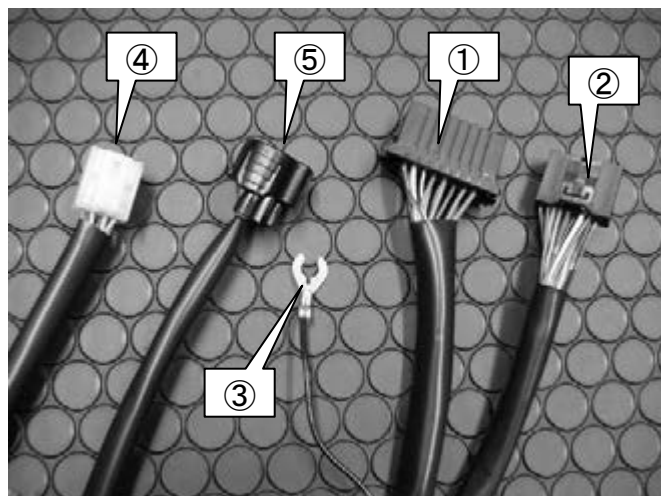
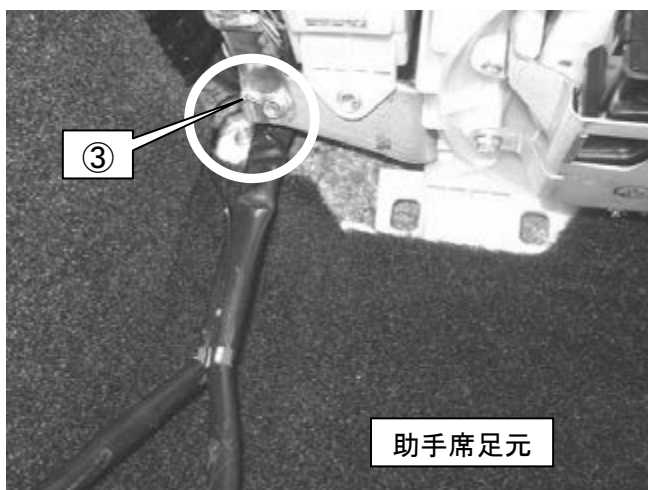


注意

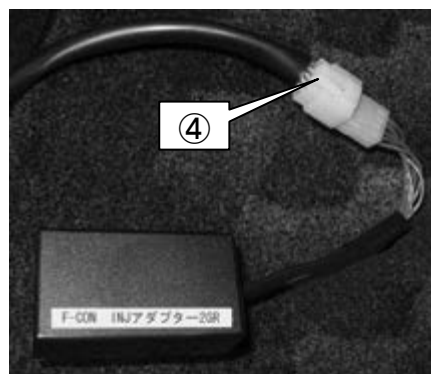
- ・ハーネスに損傷が無いようにしてください。
感電及び車両の破損、焼損の恐れがあります



(13) ①②のコネクタに VAC T-606 を接続する。
③のクワガタ端子を助手席足元のブラケット
のボルト部に接続する。

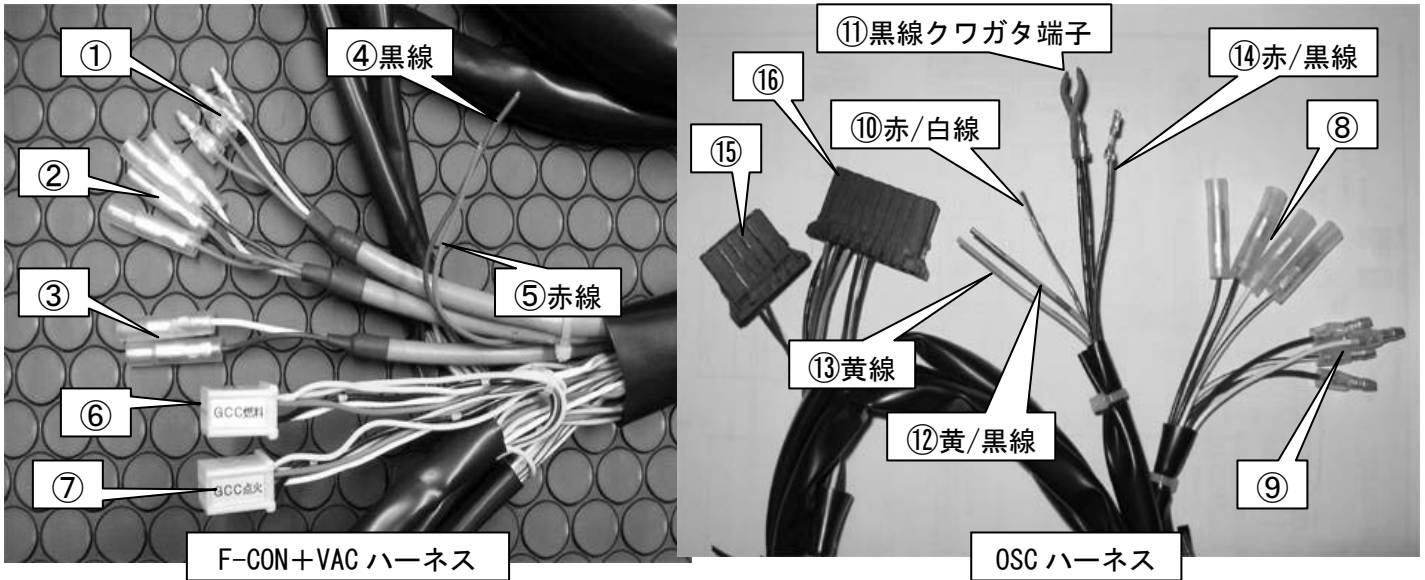


(14) (13) ④のコネクタに F-CON INJ アダプタ 2GR を接続する。



(15) (13) ⑤のコネクタを **9. 圧力センサ取付けとリリーフバルブ作動圧配管の取付け** で取付けた圧力
センサに接続する。

(16) F-CON+VAC ハーネス/OSC ハーネス配線説明



NO.	名称	接続先	備考
①	A/F センサ車両側	OSC ハーネス オスギボシ	①オスギボシ ⑧OSC ハーネス メスギボシ 白線 → 青線 黒線 → 白線 赤線 → 青/赤線 緑線 → 白/黒線
②	A/F センサ ECU 側	OSC ハーネス メスギボシ	②メスギボシ ⑨OSC ハーネス オスギボシ 白線 → 青線 黒線 → 白線 赤線 → 青/赤線 緑線 → 白/黒線
③	ノックセンサ信号	使用しません	
④	汎用アース線	メーター等のアース配線	※1 使用しない場合には絶縁する
⑤	汎用 IG 電源線	メーター等の IG 電源配線	※1 使用しない場合には絶縁する
⑥	GCC 燃料入力コネクタ	使用しません	
⑦	※2 GCC 点火入力コネクタ	OSC ハーネス	GCC 赤線 → ⑩OSC ハーネス赤/白線 GCC 黒線 → ⑪OSC ハーネス黒線クワガタ端子 GCC 黄/白線 → 配線する必要はありません GCC 白線 → 配線する必要はありません GCC 黄/黒線 → ⑫OSC ハーネス黄/黒線

※1. 使用しない場合には必ず絶縁する。

※2. ⑩～⑬を配線する際に、添付の GCC コネクタ・端子セットを使用してください。

⑬黄線は使用しませんので絶縁してください。

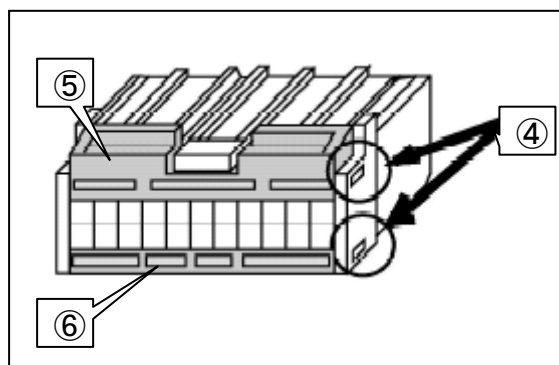
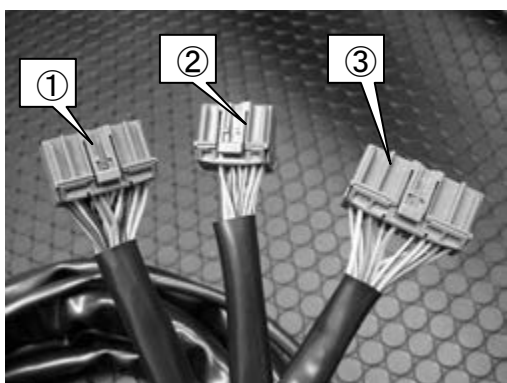
⚠	注意
・絶縁が不十分な場合、F-CON+VAC ハーネスのヒューズばかりでなく、車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。	

- (17) 車両の故障診断端子①に F-CON iS 通信ケーブルのコネクタを接続し、センターコンソール裏側を通してケーブルを助手席側まで取り回す。



- (18) (16)の⑮⑯コネクタに OSC を接続する。

- (19) ③コネクタの左右④ロックを外し⑥カバーを上げる。
②コネクタの左右④ロックを外し⑤カバーを上げる。

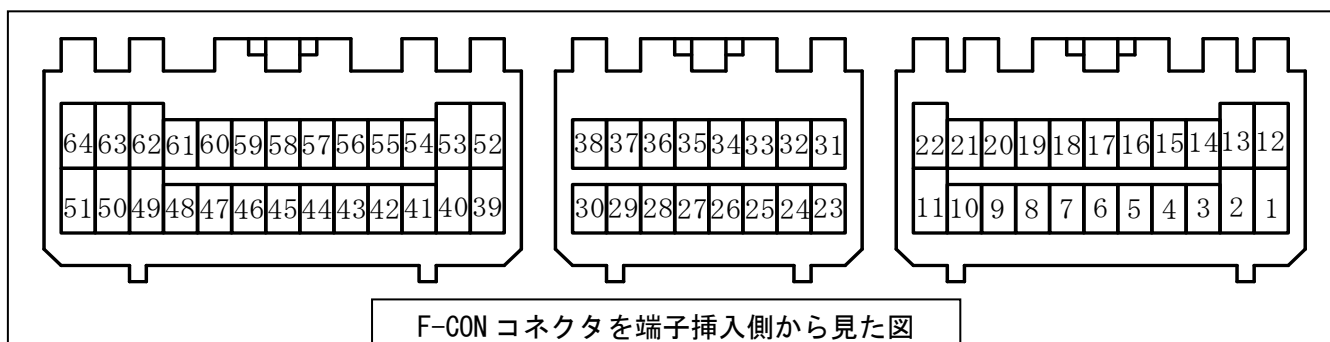


- (16)の⑭OSC ハーネス赤/黒線端子を下表のように F-CON コネクタに挿入する。


OSC ハーネス	F-CON コネクタ
⑭赤/黒線	43 番端子

- (17)で取り回した F-CON iS 通信ケーブルの端子を下表のように F-CON コネクタに挿入する。

F-CON iS 通信ケーブル	F-CON コネクタ
黄線	37 番端子
緑線	38 番端子
白線	絶縁する
茶線	絶縁する



- ⑥カバーをストッパーに引っかかるまで押し込む。
⑤カバーをストッパーに引っかかるまで押し込む。

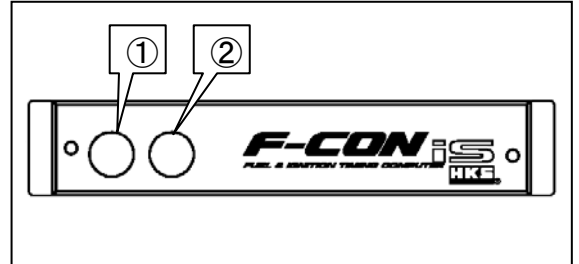
 **注意**

- ・絶縁が不十分な場合、F-CON iS ばかりでなく、車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。また、接続箇所を誤ると F-CON iS ばかりでなく、車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。必ずバッテリーをはずした状態で、配線を確認してから接続してください。

(20) 車載テレビやモニターにデータを表示させる場合には、①の端子に映像出力用ケーブル（別途お買い求めください）、②の端子に付属の画面切り替えスイッチを接続する。

※本製品で使用している F-CON iS では表示項目の変更はできません。

- ・表示項目はあらかじめ設定した次表の項目です。
- ・3 ページ目は表示ができない項目を設定していませんので使用しないでください。



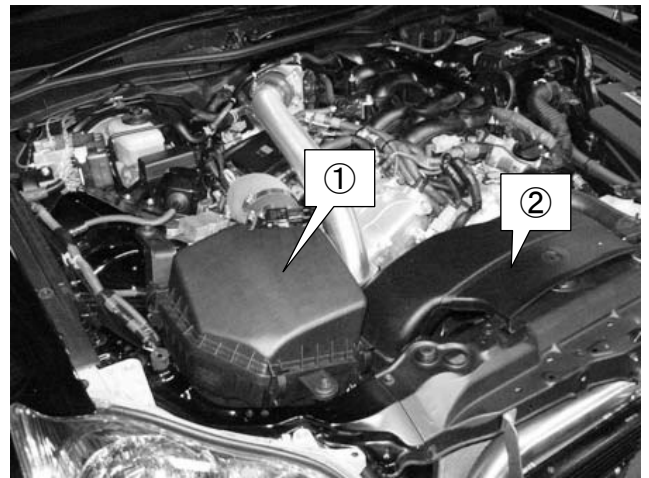
1ページ		2ページ			
エンジン回転数	バーグラフ最小値	0[r/min]	吸気温	バーグラフ最小値	-20[°C]
	バーグラフ最大値	7000[r/min]		バーグラフ最大値	130[°C]
	黄バー設定値	4500[r/min]		黄バー設定値	70[°C]
	赤バー設定値	6500[r/min]		赤バー設定値	80[°C]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
エアフロ	バーグラフ最小値	0[mV]	電源電圧	バーグラフ最小値	0.0[V]
	バーグラフ最大値	5000[mV]		バーグラフ最大値	16.0[V]
	黄バー設定値	3000[mV]		黄バー設定値	12.5[V]
	赤バー設定値	4000[mV]		赤バー設定値	11.5[V]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最小値側
圧力	バーグラフ最小値	0.00[× 100kPa]	A/F	バーグラフ最小値	8.0
	バーグラフ最大値	2.00[× 100kPa]		バーグラフ最大値	20.0
	黄バー設定値	1.10[× 100kPa]		黄バー設定値	12.0
	赤バー設定値	1.55[× 100kPa]		赤バー設定値	16.0
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
スロットル開度	バーグラフ最小値	0[%]	ノックレベル	バーグラフ最小値	0
	バーグラフ最大値	100[%]		バーグラフ最大値	100
	黄バー設定値	70[%]		黄バー設定値	50
	赤バー設定値	90[%]		赤バー設定値	90
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
水温	バーグラフ最小値	-20[°C]	車速	バーグラフ最小値	0[km/h]
	バーグラフ最大値	130[°C]		バーグラフ最大値	300[km/h]
	黄バー設定値	95[°C]		黄バー設定値	150[km/h]
	赤バー設定値	100[°C]		赤バー設定値	180[km/h]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側
車速	バーグラフ最小値	0[km/h]	スロットル開度	バーグラフ最小値	0[%]
	バーグラフ最大値	300[km/h]		バーグラフ最大値	100[%]
	黄バー設定値	150[km/h]		黄バー設定値	70[%]
	赤バー設定値	180[km/h]		赤バー設定値	90[%]
	赤バー位置設定	最大値側		赤バー位置設定	最大値側

- (21) 専用 F-CON iS を助手席シート下フロア等に両面テープや付属のステー等を使用して固定する。
- (22) タイラップで余分なハーネスを束ねる。
- (23) (12) でハーネスを車室内に引き込んだグロメットから水が入らないように、ビニールテープ等を巻きつけ、防水処理をする。
- (24) バッテリーを元のように取付ける。
バッテリーカバー左側のコネクタを接続する。

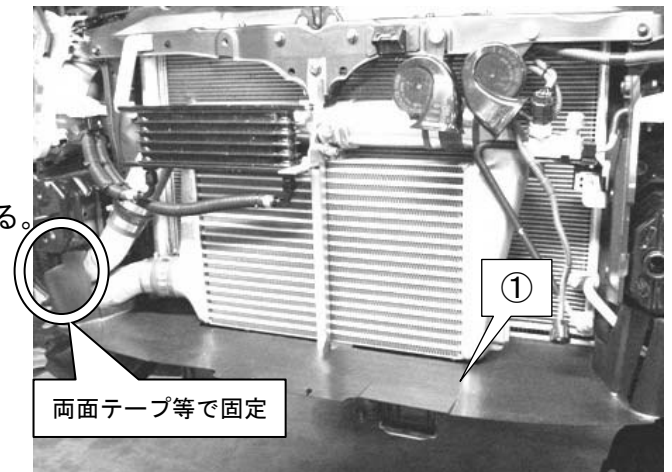


11. ノーマルパーツの取付け

- (1) ①のエアクリーナ、②のエアダクトを取付ける。



- (2) ①のラジエータグリルエアガイドをインタークーラーパイピングと干渉しないように加工し、取付ける。
- (3) ブレーキエアガイドを取付ける。
- (4) フロントバンパインホームメントを取付ける。
- (5) フロントバンパ エネルギーアブソーバーを取付ける。
- (6) 吸気温センサのカプラを取付ける。



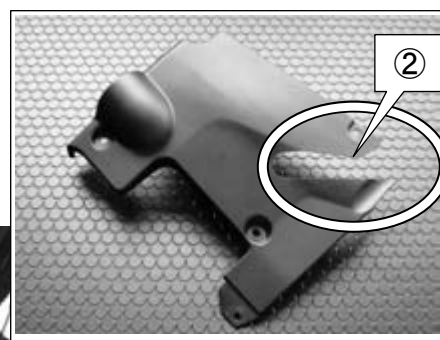
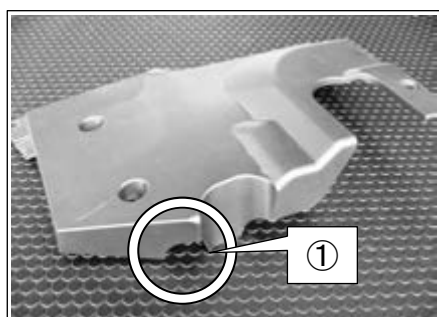
(7) フロントバンパーを取付ける。

(8) エンジンカバーがパイピングと干渉する①の部分を切り取り、エンジンに取付ける。

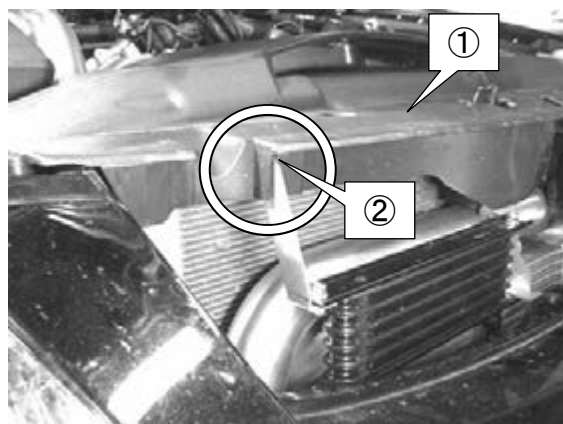


(9) エンジンルームカバーがサクションパイプに干渉する①の部分を切り取り、取付ける。

(10) エンジンルームカバーがF-CONハーネスに干渉する②の部分を切り取り、取付ける。



(11) ①のクールエアインテークダクトシールがオイルクーラーのブラケットに干渉する②の部分を切り取り、取付ける。



(12) エンジンアンダカバーを取付ける。

アドバイス

・エンジンアンダカバーは必ず取付ける。

(13) バッテリーのマイナス端子を取付ける。

(14) 以下の項目の設定を行う。

○パワーウィンドウ

1. 窓を全開にする。
2. 窓を全閉にし、その状態を 1 秒間維持する。

○サンルーフ（装着車両の場合）

1. サンルーフを全閉にする。
2. チルトアップスイッチを押し続け、チルトアップ→1 秒停止→チルトダウン→スライドオープン→スライドクローズの順に操作する。

○バックガイドモニター

エンジン始動後、バックガイドモニターのヘルプを参照し設定する。
ヘルプがない場合や設定できない場合は、下記のいずれかの方法で設定する。

方法 1

1. ステアリングホイールを右いっぱいに切る。
2. ステアリングホイールを左いっぱいに切る。

方法 2

できるだけカーブや渋滞の少ない進路を 20km/h 以上で 5 分間以上走行する。

設定が完了すると予想進路が表示される。

○イモビライザー

運転席ドアを開閉し、その状態を 10 秒以上経過するまで維持する。

12. トラクションオイルの注入

パーツリスト



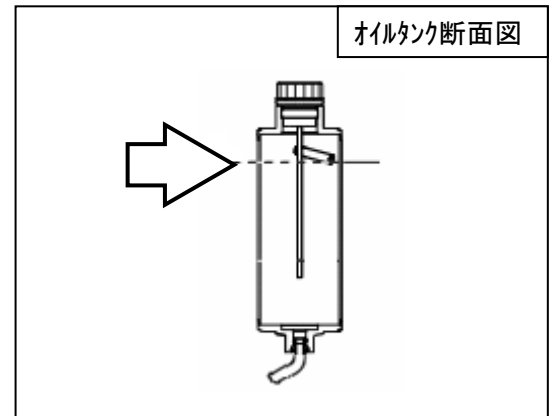
P5

No.	品名	数量
P5	トラクションオイル	1

アドバイス

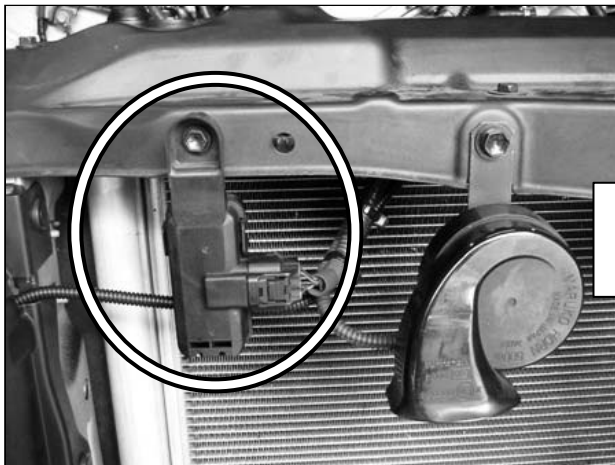
- ・スーパーチャージャーAssyの内部構成部品は精密部品です。オイルに異物が混入するとスーパーチャージャーAssyが破損します。オイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように作業を行なってください。

- (1) トラクションオイルタンク内に異物が無い事を確認し、トラクションオイルを約 600cc (図中矢印のオイルタンク内のリターンパイプが突き出している位置まで) 注入し、キャップを閉める。

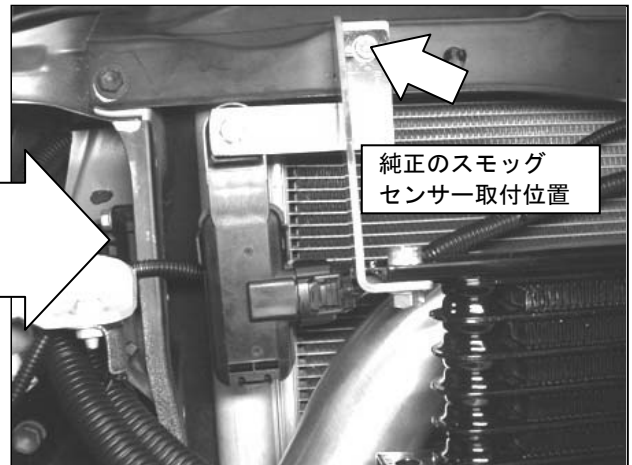


《 参考 》

- ・リアエアコン装着車両の場合、スモッグセンサーの移動が必要です。



純正のスモッグセンサー
(ラジエータ前、運転席側)



- ・ブラケットを製作してスモッグセンサーを移動する。
- ・スモッグセンサーのハーネスがホーンのハーネスと束ねられているため、ハーネスを分岐して取付ける。

13. 取付け後の確認とトラクションオイル量の調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なう。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認する。

	確認項目	確認
1	トラクションオイル配管が正しく行われているか。	
2	ハーネス及び取付けた部品が各部に干渉していないか。	
3	F-CON+VAC ハーネスの使用していないオプション機器接続コネクタは開放されているか。	
4	F-CON+VAC ハーネスのアースが確実に取付けられているか。	
5	各ハーネスを強くはさんでいないか。	
6	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
7	ベルトがプーリーの溝にしっかり合っているか。	
8	トラクションオイルがオイルタンク内リターンパイプの突き出し位置まであるか。	
9	パイプ・ホース類の配管が間違っていないか。	
10	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
11	ホースバンドが確実に締まっているか。	
12	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
13	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	
14	バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
15	エンジンオイルがレベルゲージのH～Lの間にあるか。	

※専用 F-CON iS は設定およびデータ入力済み。

(2) トラクションオイルをビーカー等に約 80cc 準備しておき、トラクションオイルのキャップを外してエンジンを始動する。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施する。

1. オイルタンクのオイルレベルが下がり始め、オイルタンクにトラクションオイルが戻ってくる事を確認する。
2. オイルタンク内のオイルが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションオイルを継ぎ足す。その際、タンクからあふれないようにする。

※ バッテリー端子接続後、1 回目の始動時はエンストしますが、異常ではありません。

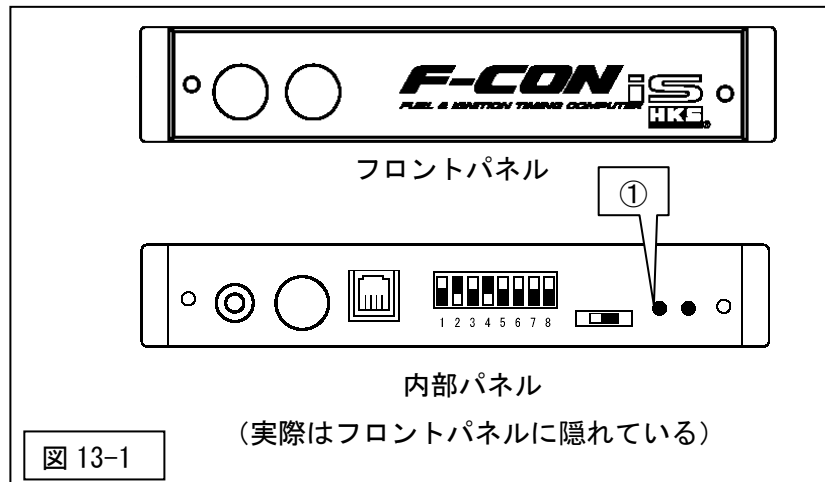
※ エンジン始動直後、暖気中に GT スーパーチャージャーから“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえる。これはトラクションオイルが暖まる約 2～3 分後に聞こえなくなるものであり、異常ではない。

(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認する。

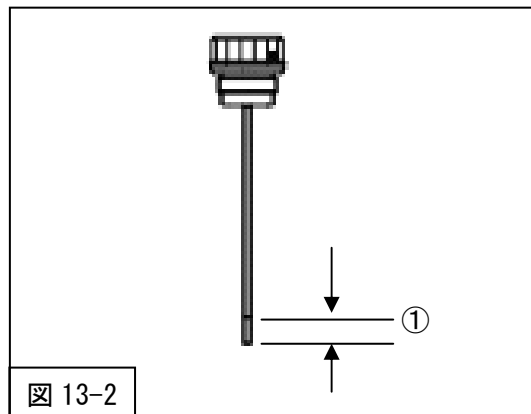
アドバイス

・暖気中はエンジンの回転を上げないようにする。(アイドリング運転)

	確認項目	確認
1	オイルタンクにトラクションオイルが戻っているか。	
2	専用 F-CON iS の パワーLED (グリーン) は点灯しているか。(図 13-1①)	
3	各部から、トラクションオイル、冷却水、エアが漏れていないか。	
4	ハーネス、ホース類が引っ張られていないか。	
5	部品による干渉音が無いか。	



- (5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を10秒間2000rpmに維持し、速やかにエンジンを停止して、トラクションオイルがレベルゲージのマーキングレベル(図中①)までであるか確認し、過不足を調整する。



※残ったトラクションオイルは、トラクションオイルが入っていた容器でキャップをして保存してください。

トラクションオイルは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

- (6) トラクションオイルタンクのキャップを閉める。

以上で取付け作業は終了です。

※走行後、エンジンルームが高温になっている状態でエンジンを停止した場合、ベルトから“キュッ”と音が出る場合があります。これは純正のオートテンショナーがベルトの張りを調整しているため発生しているものであり、異常ではありません。

14. 1ヶ月点検の実施

- 本製品を取付けてから1ヶ月後(40日以内)に添付の1ヶ月点検記録用紙に従い、下記の点検を実施してください。
- 本点検により不具合が無いことを確認し、添付の保証登録書に必要事項を記入し、登録を行なってください。

記入方法

異常なし

レ

交換


×

調整

A

締付け

T

点検項目	
1	<p><u>スーパーチャージャー本体の確認</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作動音確認の際はベルトに手や指、衣服等が巻き込まれないようにしてください。 ・ ベルトに巻き込まれた場合重症を負う可能性があります。 </div> <p>取付け時と比較してGTスーパーチャージャー駆動機構の作動音が大きくなっていたり、異音が発生していないか <input type="checkbox"/></p> <p>取付け時と比較してエアクリーナからの吸気音が大きくなっていたり、異音が発生していないか <input type="checkbox"/></p> <p>トラクションオイルが異常に減少していないか(オイルレベルゲージにオイル液面が触れない程度まで) <input type="checkbox"/></p>
	<p><u>トラクションオイル配管の点検</u></p> <p>トラクションオイル配管からの漏れ、ホースクランプの緩みがないか確認箇所 <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーチャージャーとの接続部 <input type="checkbox"/> ・ オイルクーラーとの接続部 <input type="checkbox"/> ・ オイルタンクとの接続部 <input type="checkbox"/> ・ オイルフィルターとの接続部 <input type="checkbox"/> <p>トラクションオイルホースに他部品との接触による損傷がないか <input type="checkbox"/></p> <p>トラクションオイルホースにひび、割れなどが生じていないか <input type="checkbox"/></p> <p>トラクションオイルがレベルゲージのマーキングレベルまでであるか <input type="checkbox"/></p>
	<p><u>ベルトの点検</u></p> <p>ベルトがオートテンショナーの調整範囲内になっているか <input type="checkbox"/></p> <p>ベルトにひび、割れ、欠けなどの損傷がないか <input type="checkbox"/></p>
	<p><u>ボルトの締付け</u></p> <p>GTスーパーチャージャーの取付けボルトが締まっているか <input type="checkbox"/></p> <p>プーリー①、②の取付けボルトが確実に締まっているか(P17 2.(10)) <input type="checkbox"/></p> <p>プーリー①がE/Gフロントカバーのボスに干渉していないか(P17 2.(11)) <input type="checkbox"/></p>

5	その他		
	ハーネス類が各部に干渉していないか		<input type="checkbox"/>
	確認箇所		
	・圧力センサハーネス		<input type="checkbox"/>
	・F-CONハーネス		<input type="checkbox"/>
	取付けた部品が各部に干渉していないか		<input type="checkbox"/>
	確認箇所		
	・サクションパイプと車体		<input type="checkbox"/>
	・パイプNo.8とインジェクタドライバ		<input type="checkbox"/>
	・パイプNo.8と油圧ソレノイドのカプラ		<input type="checkbox"/>
ホースバンドが確実に締まっているか		<input type="checkbox"/>	
エンジンオイルがレベルゲージのH~Lの間にあるか		<input type="checkbox"/>	

15. 維持・管理

○トラクションオイルは HKS GT スーパーチャージャー専用品です。弊社指定のトラクションオイル以外は絶対に使用しないでください。弊社指定以外のトラクションオイルや、エンジンオイル、ミッションオイル等を使用した場合、HKS GT スーパーチャージャーの内部部品が破損します。

○トラクションオイルは交換不要ですが、運行前には、油量の確認を行ない、減少している場合にはトラクションオイルを補充してください。

・補充用のトラクションオイルは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションオイル(1L)	G08834-K00020-00

○HKS GT スーパーチャージャー取付後、5年経過または走行距離が70,000kmを超えた場合はトラクションオイルのフィルターを交換してください。

・トラクションオイルのフィルターは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションオイルフィルタ	G15611-K00010-00

○リブベルトは消耗部品です。運行前点検時にひび、割れ、欠けなどの損傷がないか確認してください。損傷がある場合には交換してください。弊社指定のベルト以外は使用しないでください。弊社指定以外のベルトを使用した場合、始動時やアイドルリング時にベルトの鳴きが発生します。

・交換用のベルトは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
ベルト	G09961-K00040-00

16. 故障と判断する前に

○本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・ベルト等の確認をしてください。

症状	原因	確認事項・対策
<ul style="list-style-type: none">・イグニッションキーを ON にしても専用 F-CON iS のパワーLED が点灯しない・エンジンが始動しない・エンジン不調	コネクタ接触不良	<ul style="list-style-type: none">・各コネクタを隙間のないように確実に接続する
<ul style="list-style-type: none">・エンジン始動時にベルトが鳴く・エンジン出力が低下したように感じる・全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	ベルト張力低下	<ul style="list-style-type: none">・オートテンショナーの調整代を使い切っていないか確認。使い切っている場合は新品に交換
<ul style="list-style-type: none">・エンジン出力が低下したように感じる・全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	エアクリーナの寿命	<ul style="list-style-type: none">・汚れが目立つ場合には交換時期に達していなくても交換・HKS ハイブリッドフィルターを使用されている場合、走行距離が 10,000km を超えている場合は交換 (使用状況により 10,000km 以下でも交換)
<ul style="list-style-type: none">・オートマチックトランスミッションの変速不調	コネクタ接触不良 アース不良	<ul style="list-style-type: none">・各コネクタを隙間のないように確実に接続する・F-CON+VAC ハーネスの黒線クワ型端子アースを確実に接続する

17. ベルトが切れてしまった場合

- ・車両を安全な場所へ移動し、切れたベルトによる他部品の損傷（オイル、冷却水配管、ハーネス等の破損）がないか確認してください。
- ・ベルトでウォーターポンプを駆動しているため、ベルトが切れた場合は走行しないでください。
- ・安全な場所へ移動して原因を確認し、問題がなければ新品のベルトに交換してください。問題が発見された場合には適切な修理を行なってください。